

大学図書館が提供するパスファインダーの  
実態調査

筑波大学

図書館情報メディア研究科

2018 年 1 月

于紅宇

## 目次

1. はじめに .....	1
1.1 研究背景と目的 .....	1
1.2 本論文構成 .....	2
2. 先行研究 .....	3
3. 研究方法 .....	4
3.1 パスファインダーの収集方法 .....	4
3.2 分析方法 .....	4
4. 研究結果 .....	7
4.1 伊藤（2008）と比較結果 .....	7
4.2 無作為抽出法の結果 .....	8
4.3 各大学図書館のパスファインダーの調査結果 .....	8
4.3.1 大阪大学附属図書館 .....	8
4.3.2 神戸大学附属図書館 .....	11
4.3.3 名古屋大学附属図書館 .....	13
4.3.4 法政大学図書館 .....	15
4.3.5 首都大学東京図書館 .....	17
4.3.6 福岡大学図書館 .....	18
4.3.7 東洋大学附属図書館 .....	21
4.3.8 千葉大学附属図書館 .....	22
4.3.9 愛知学院大学図書館情報センター .....	24
4.3.10 神奈川大学図書館 .....	27
4.3.11 東京理科大学図書館 .....	29
4.3.12 城西大学水田記念図書館 .....	30
4.3.13 学習院女子大学図書館 .....	32
4.3.14 日本社会事業大学附属図書館 .....	34
4.3.15 中部大学附属三浦記念図書館 .....	35
4.3.16 南山大学図書館 .....	37
4.3.17 三重大学附属図書館 .....	39
4.3.18 京都産業大学図書館 .....	40
5. 考察 .....	43

5.1 パスファインダーの更新状況 .....	43
5.2 パスファインダーの作成数 .....	43
5.3 パスファインダーの作成分野 .....	43
5.4 パスファインダー推薦図書出版年 .....	43
5.5 授業支援パスファインダー .....	44
6. 終わりに .....	45
謝辞 .....	46
参考文献 .....	47

## 図表リスト

図 1 大阪大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	10
図 2 大阪大学附属図書館推薦図書出版年.....	10
図 3 大阪大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	11
図 4 神戸大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	12
図 5 神戸大学附属図書館推薦図書出版年.....	12
図 6 神戸大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	13
図 7 名古屋大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	14
図 8 名古屋大学附属図書館推薦図書出版年.....	14
図 9 名古屋大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	15
図 10 法政大学図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	15
図 11 法政大学図書館推薦図書出版年.....	16
図 12 法政大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	16
図 13 首都大学東京図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	17
図 14 首都大学東京図書館推薦図書出版年.....	18
図 15 首都大学東京図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	18
図 16 福岡大学図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	19
図 17 福岡大学図書館推薦図書出版年.....	20
図 18 福岡大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	20
図 19 東洋大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	21
図 20 東洋大学附属図書館推薦図書出版年.....	22
図 21 東洋大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	22
図 22 千葉大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	23
図 23 千葉大学附属図書館推薦図書出版年.....	24
図 24 千葉大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	24
図 25 愛知学院大学図書館情報センターパスファインダーの NDC 分類.....	25
図 26 愛知学院大学図書館情報センター推薦図書出版年 .....	26
図 27 愛知学院大学図書館センターパスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	26
図 28 神奈川大学図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	27
図 29 神奈川大学図書館推薦図書出版年.....	28
図 30 神奈川大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	28
図 31 東京理科大学図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	29
図 32 東京理科大学図書館推薦図書出版年.....	29

図 33 東京理科大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	30
図 34 城西大学水田記念図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	31
図 35 城西大学水田記念図書館推薦図書出版年 .....	31
図 36 城西大学水田記念図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	32
図 37 学習院女子大学図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	33
図 38 学習院女子大学図書館推薦図書出版年 .....	33
図 39 学習院女子大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	34
図 40 日本社会事業大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	34
図 41 日本社会事業大学附属図書館推薦図書出版年 .....	35
図 42 中部大学附属三浦記念図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	36
図 43 中部大学附属三浦記念図書館推薦図書出版年 .....	36
図 44 中部大学附属三浦記念図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	37
図 45 南山大学図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	37
図 46 南山大学図書館推薦図書出版年 .....	38
図 47 南山大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	38
図 48 三重大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	39
図 49 三重大学附属図書館推薦図書出版年 .....	40
図 50 三重大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	40
図 51 京都産業大学図書館パスファインダーの NDC 分類 .....	41
図 52 京都産業大学図書館推薦図書出版年 .....	41
図 53 京都産業大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ .....	42
表 1 蔵書数 100 万冊以上を対象結果 .....	4
表 2 蔵書数 100 万冊以上を対象結果の割合 .....	7
表 3 蔵書数 100 万冊以上を対象結果の詳細 .....	7
表 4 伊藤・小澤（2008）の結果 .....	7
表 5 無作為抽出法の結果 .....	8

# 1. はじめに

## 1.1 研究背景と目的

近年、ウェブ上の情報資源が大量に増えている中で、自分自身にとって本当に必要な情報を正しく選択することは、より困難で負担のかかる作業になってきていると言われている。また、学生の情報リテラシー習得・向上などは、大学における必須の教育課題となっているが、大学図書館における情報リテラシー教育に貢献できるものとして、「パスファインダー」が考えられている。<sup>1</sup>

パスファインダー (pathfinder) を日本語に訳すと「道しるべ」という意味である。1969年に米国のマサチューセッツ工科大学で考案されたサービスであるが、その目的は、(1) 入門的な情報を入手するためのチェックリストである、(2) 様々タイプの情報資源を提供する、(3) 特定のトピックに焦点を当てたものである、(4) 文献検索の初期段階における利用者を手助けするように工夫されている、(5) 利用者の時間を節約する、(6) 主題知識の乏しい利用者のためのガイドである、(7) 網羅的な主題書誌ではない、という7つであった。<sup>2</sup>当初は一枚物のリーフレットだったが、現在ではインターネットで提供されていることが多い。また、現在は授業やシラバス関連したパスファインダーも存在している。

「パスファインダー」という言葉が、図書館情報学用語辞典に見出しとして採用されたのは第4版(2013年)からであった。そこでは「利用者に対して、特定の主題に関する各種情報資源や探索方法を紹介・提供する初歩的なツール。」と定義されている。「主題ガイド」や「リサーチガイド」などのサービスは、パスファインダーと類似した概念を持っている。

3

パスファインダーを名付けた Canfield は「パスファインダーは初学者のニーズに応える様々なタイプの基本的資料をまとめたリストで、図書館利用者の文献調査を一步步支援するツールである」<sup>4</sup>と定義し、鹿島らは「利用者が特定の主題に関する情報収集を図書館で行う際の、最初のとっかかりとなる図書館のガイドもしくは要チェックリストのようなもの」<sup>3 5</sup>と定義した。また、パスファインダーバンクは「ある特定のトピックに関する資料や情報を収集する手順を簡便にまとめた情報探索ツールのこと」<sup>6</sup>と説明している。

以上の定義から、本研究は「パスファインダーとは、利用者が特定のトピックを知りたいもしくは疑問を持つ時、利用者を最後の答えまでに導く、情報資源を提供するツールである」と定義する。

日本で代表的なパスファインダー集としては「パスファインダーバンク」と「レファレンス協同データベース(調べ方マニュアル)」の2つがある。しかし「パスファインダーバンク」は2008年4月が最後の更新で、現在更新されていない状態である。

パスファインダーに期待できる効果は、「利用者」「図書館」「教員」の3つから考えら

れる。利用者にとって課題解決能力と情報リテラシーの向上、図書館の利用者の増加する効果、また、教員と図書館の連携によって、コミュニケーションが深まることができる。北米の図書館ではパスファインダーの価値を認められ、レファレンスサービスの重要な役割にもなっている。しかし日本の図書館では普及率が低く、パスファインダーに関する研究も少ない。そこで、本研究では、大学図書館が提供するパスファインダーの実態調査を行い、その現状を明らかにするにより、今後のパスファインダーの提供及び発展に一助になりたいと考えている。

## 1.2 本論文の構成

本論文の構成は以下通りである。

第1章では、本研究の背景と目的について論じる。第2章では、パスファインダーに関する先行研究について、今までの研究を紹介する。第3章では、本研究の研究方法及び収集・分析方法について述べる。第4章では、本研究の研究方法によって得られたパスファインダーについての結果を述べる。第5章では、第4章で述べたパスファインダーの考察について述べる。第6章では、本研究のまとめを行い、大学図書館が提供するパスファインダーについて今後の課題について述べる。

---

<sup>1</sup> 瀬戸口誠. 情報リテラシー教育とは何か: そのアプローチと実践について. 情報の科学と技術. 2009, vol.59, no.7, p.316-321

<sup>2</sup> 鹿島みづき, 山口純代, 小嶋智美. パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践—図書館員のための主題検索ツール作成ガイド. 東京, 紀伊國屋書店, 2005, 175p.

<sup>3</sup> 鹿島みづき, 山口純代. 図書館パスファインダーに見る次世代図書館の可能性. 情報の科学と技術. 2002, vol.52, no.10, p.526-537

<sup>4</sup> Stevens, Charles H., Marie P. Canfield, and Jeffrey J. Gardner. Library pathfinders: A new possibility for cooperative reference service. College & Research Libraries. 1973, vol.34, no.1, p.40-46

<sup>5</sup> Rice, James. "Pathfinder". Teaching library use: a guide for library instruction. Westport, Conn., Greenwood Press, 1981, p.91-92

<sup>6</sup> 企画広報研究分科会. パスファインダーバンク. 2008-4-23. [http://www.jaspul.org/pre/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb\\_frameset.htm](http://www.jaspul.org/pre/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb_frameset.htm), (参照 2017-12-30)

## 2. 先行研究

鹿島らは「図書館パスファインダーに見る次世代図書館の可能性」において、パスファインダーの歴史や背景を説明し、インターネットを含む新しい技術の出現により電子パスファインダーに進歩することで、図書館パスファインダーは利用の可能性が開けてくると述べている。

また、パスファインダーの調査においては、伊藤らは 2008 年に一部の大学図書館を対象にして、ホームページの調査およびアンケート調査を行い、さらに Web 上に存在するパスファインダーの状況を分析した。中央館、分館の合計蔵書数 100 万冊以上の大学図書館を対象にして、パスファインダーの提供有無の結果は、調査対象の国公立大学図書館は 26 館のうちに作成館は 11 館、私立大学図書館は 29 館のうちに作成館は 8 館があった。アンケートによる調査結果は、パスファインダーのテーマは利用者からの問い合わせが多いものから選定する図書館が多く、作成・提供にあったて最も困難を感じてゐるのは、人的資源の確保・維持であることが分かった。

千葉大学附属図書館は、2006 年から教育と研究を支援するため、教員と連携しパスファインダーを作成した。授業に役立つパスファインダーを作成することで、情報提供機能を強化することにつながると述べている。また、「図書館員が分担分野の教員と連絡を密に取ることで、授業内容や研究分野をより深く知ることができた」<sup>7</sup>パスファインダーを作成する最大の成果として挙げられている。学生にとって「パスファインダー」という言葉がわかりづらく、2008 年から名称を「授業資料ナビゲータ」に変更した。<sup>8</sup>

---

<sup>7</sup> 鈴木宏子, 武内八重子, 中村澄子. 図書館による学習支援と教員との連携: 千葉大学におけるパスファインダー作成の実践から. 大学図書館研究. 2008, vol.83, p.19-24

<sup>8</sup> 米田奈穂, 竹内比呂也. 特集, 広がりをもせるパスファインダー: 戦略的ツールとしてのパスファインダー: 千葉大学附属図書館における「授業資料ナビゲータ」の取り組みと展開. 図書館雑誌. 2012, vol.106, no.4, p.237-239



### 3. 研究方法

#### 3.1 パスファインダーの収集方法

本研究ではパスファインダーの実態を調査するため、先行研究の伊藤・小澤（2008）<sup>9</sup>と同じ基準で大学図書館を選び、更に他の大学図書館も無作為抽出し、パスファインダーの有無や内容を調査する。

まず伊藤・小澤（2008）の結果と現在の状況を比較するため、蔵書数 100 万冊以上など伊藤・小澤（2008）の調査対象条件<sup>10</sup>と合致する大学図書館をサンプルとした。結果、72 館がサンプルとなった。各図書館の蔵書冊数は『日本の図書館：統計と名簿』で把握した。

また、本研究オリジナルなデータを収集するため、日本図書館協会にある図書館リンク集に基づいて、大学図書館 1,016 館から無作為抽出でサンプルを選び、561 館のホームページを調査した。伊藤・小澤（2008）の調査対象条件<sup>10</sup>と違い、パスファインダーの定義としてはまず、(1)タイトルで「パスファインダー」と名乗っていること、さらにパスファインダーバンクがパスファインダーの条件として挙げる、(2)特定のトピックを扱っていること、(3)ナビゲーション機能があること、(4)資料・情報源の一覧性があること、(5)簡便に情報にアクセスできること、の 5 つを全て満たしていることとした。

上記で得られた大学図書館のパスファインダーが提供している情報を調査する。調査項目は主に分野、テーマ数、テーマ、授業関連、最新更新日、推薦されている図書（ISBN、出版年、資料タイプなど）、推薦されているデータベースなどである。

#### 3.2 分析方法

3.1 で述べた 72 館のうち、国立大学図書館は 28 館、公立大学図書館は 3 館、私立大学図書館は 41 館であった。調査の結果、明確にパスファインダーを提供していたのは 11 館（国 4、公 1、私 6）、判断に迷う館が 9 館あった。

図書館種別	調査対象図書館数	作成館数
国立大学図書館	28	4
公立大学図書館	3	1
私立大学図書館	41	6
合計	72	11

表 1 蔵書数 100 万冊以上を対象結果

上記 9 館のパスファインダーについては、「中間」「持っていない」の 2 種類に分類した。

以下ではまずそれぞれの結果について述べる。

#### A. 中間（2 館）

##### 1. 早稲田大学図書館

「リサーチ NAVI」という選択項目がホームページの「資料検索」の中にあり、更に「テーマ別案内」という一覧があった。先行研究伊藤・小澤（2008）調査対象条件と一致するトピックは「早稲田大学を調べる」と「浮世絵について知りたい」があったが、パスファインダーに該当するのはわずか 2 つのテーマであったため、中間とした。

##### 2. 愛媛大学図書館

この大学図書館では、「本を探す」と「論文・記事を探す」と別に「案内」という項目の下に「マニュアル一覧」があり、その中にパスファインダーがあった。「テーマ別調べ方」として、（旧制）松山高等学校、お遍路、食育を掲載している。パスファインダーの数が 3 つと少ないため、中間とした。

#### B. 持っていない（7 館）

1. 九州大学附属図書館
2. 慶應義塾図書館
3. 東北大学附属図書館
4. 大阪市立大学
5. 関西学院大学図書館
6. 金沢大学附属図書館
7. 青山学院大学図書館

上記の 7 館は、議論の余地はあるものの、パスファインダーというよりは資料の探し方一般と思われるものだけ提供していなかったため、パスファインダーは持っていないとみなした。金沢大学附属図書館は“調べ方・学び方ガイド(作成中)”を掲げているが、2017 年 11 月 27 日現在ではまだ作成されていない。

---

<sup>9</sup>伊藤白，小澤弘太．国内における Web 上パスファインダーの現況調査．情報の科学と技術．2008，58(7)，p. 361-366

<sup>10</sup>以下の基準を採用した。即ち、A.特定の大きすぎない分類の主題（トピック）を扱っていること。ここでの「大きすぎない 分類」とは、NDC 分類における第二次区分程度の概念（「法律」「経済」「統計」等）と同程度か、より細かい分類とする。B.資料・情報源の、ガイドを施された一覧であること。「ガイドを施された」とは、当該主題の調方に関する何らかの解説が付けられ、ストーリー性を持っていること、一覧の資料・情報源が人為的な重み付けによって並べられていること(ただし明示の有無は問わない)を要件とする。C.ウェブ上の情報源あるいは紙媒体の資料に限定していないこと。また同様に、図書館内でのみ使用可能な有料データベースに限定していないこと。D.解題が個々の資料・

---

情報源に付与されていることが前提となっていること。

## 4. 研究結果

### 4.1 伊藤（2008）と比較結果

本研究の第3章で述べた、蔵書数100万冊以上など伊藤・小澤（2008）の調査対象条件と合致する大学図書館ホームページを調査した結果、表2のようになった。

図書館種別	図書館数	作成館数	作成館の割合
国立大学図書館	28	4	0.14
公立大学図書館	3	1	0.33
私立大学図書館	41	6	0.14
合計	72	11	0.16

表2 蔵書数100万冊以上を対象結果の割合

大学図書館の詳細は表3の通りである。

大学図書館名	類別	大学図書館名	類別
大阪大学附属図書館	国立	法政大学図書館	私立
神戸大学附属図書館	国立	福岡大学図書館	私立
名古屋大学附属図書館	国立	愛知学院大学図書館	私立
千葉大学附属図書館	国立	神奈川大学図書館	私立
東洋大学附属図書館	私立	首都大学東京図書館	公立
東京理科大学図書館	私立		

表3 蔵書数100万冊以上を対象結果の詳細

伊藤・小澤（2008）の結果は表4の通りである。

図書館種別	図書館数	作成館数	作成館の割合
国公立大学図書館	26	11	0.42
私立大学図書館	29	8	0.28
合計	55	19	0.35

表4 伊藤・小澤（2008）の結果

表2と表4を比較すると、作成館の割合は低下している。その理由は（1）蔵書数100万

冊以上の調査対象館が増え、伊藤・小澤（2008）の調査対象館とサンプルが異なる、(2) 調査対象館がパスファインダーの提供を停止した、(3) 本研究では見つけれなかった、という 3 つの可能性が考えられる。

本研究のサンプルには、伊藤・小澤（2008）にはなかった公立大学図書館のデータが含まれた。新しいデータが得られたと言える。

## 4.2 無作為抽出法の結果

3.1 節で述べたように、本研究では伊藤・小澤（2008）と異なるオリジナルなデータを収集するため、日本図書館協会にある図書館リンク集に基づいて、大学図書館 1,016 館から無作為抽出でサンプルを選び、561 館のホームページを調査した。

結果、下記の 12 館がパスファインダーを持っていると判断された。

城西大学水田記念図書館	三重大学附属図書館
学習院女子大学図書館	京都産業大学図書館
名古屋大学附属図書館	神戸大学附属図書館
日本社会事業大学図書館	法政大学図書館
中部大学附属三浦記念図書館	神奈川大学図書館
南山大学名古屋図書館	
東洋大学附属図書館	

表 5 無作為抽出法の結果

## 4.3 各大学図書館のパスファインダーの調査結果

本研究では伊藤・小澤（2008）との比較のために得た 11 館、無作為抽出法で得た 12 館を合わせた 18 館（重複を除く）のパスファインダーに関して、主に分野、テーマ数、テーマ、授業関連、最新更新日、図書、ISBN、出版年、資料タイプ、推薦されているデータベースの情報を収集した。また、分析するために各テーマを NDC 分類の第一次区分番号を振り付けた。以下では各館の傾向について述べる。

### 4.3.1 大阪大学附属図書館

大阪大学附属図書館は、合計 149 個のパスファインダーを掲載し、それらを「人文科学」「社会科学」「自然科学・工学」「その他」の 4 種類に分類している。最新更新日は 2017 年 3 月であった（最終確認日 2017 年 10 月 1 日）。

この大学図書館のパスファインダーの特徴としては、すべてのパスファインダーを各専攻 TA や各図書館分館 TA が中心となって作成している点が挙げられる。シラバスと関連する図書を推薦するだけでなく、パスファインダーの分野に合わせて、いろいろな視点を入れて、図書を推薦している。また、推薦する図書が大阪大学附属図書館に「所蔵なし（入手予定あり）」の場合、その図書を所蔵している公共図書館を紹介している。

パスファインダーごとにレポートの書き方の図書も推薦され、そのパスファインダーのテーマに合った勉強法をアドバイスしている。また多くではないが、留学生向けの英語や中国語のパスファインダーも掲げている。(例.参考文献的正确写法(中国語版「参考文献の書き方」))

パスファインダーは分館別に作成されており、作成のフォーマットが分館ごとに異なっている。デザインや書誌事項の書き方も統一されていない。各パスファインダーを印刷する場合、最後のページがメモ用紙になっているものもあれば、そうでないものもあった。自然科学・工学に関するパスファインダーでは、学会のホームページや WEB サイトの QR コードが付いているため、スマートフォンで読み取ると閲覧ができる。

注意すべき点として、書名や出版年の転記ミスが何箇所もある点が挙げられる。例えば、「あなたが選ぶ読書術」というパスファインダーでは、「斎藤孝の速読術」という図書を推薦されているが、正しい書名は「齋藤孝の速読塾」であった。「生涯教育」というパスファインダーの中に、「現代社会教育学—生涯学習社会への道程」という図書を 2009 年刊行として掲載しているが、正しい刊年は 2006 年であった。

パスファインダーを NDC によって分類すると図 1 のようになった。「社会科学」「自然科学」「技術・工学」「言語」が多く占めていることが分かる。

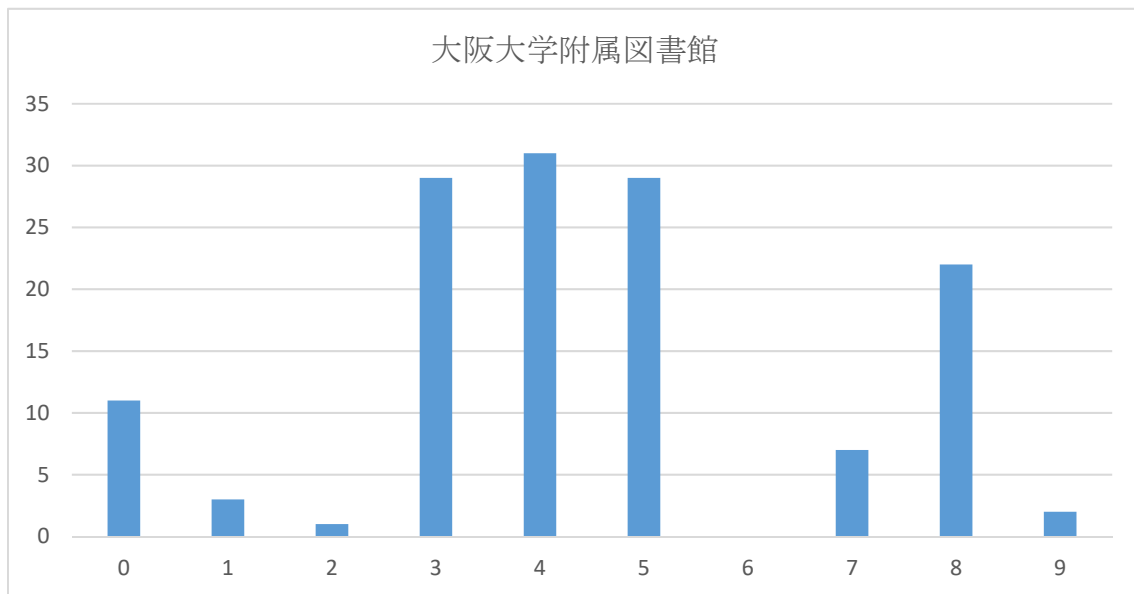


図 1 大阪大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーで推薦図書の出版年をまとめた結果は図2のようになった。出版年2000年～2009年の図書は多く占めている。

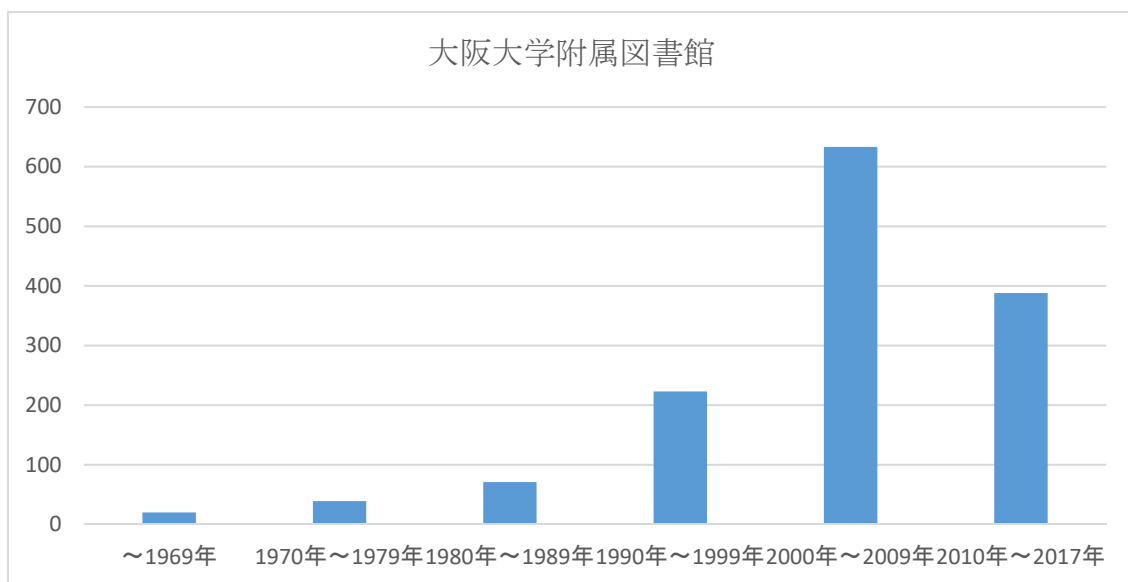


図 2 大阪大学附属図書館推薦図書出版年

大阪大学附属図書館のパスファインダーの NDC 分類と出版年をまとめた結果は図3のようになった

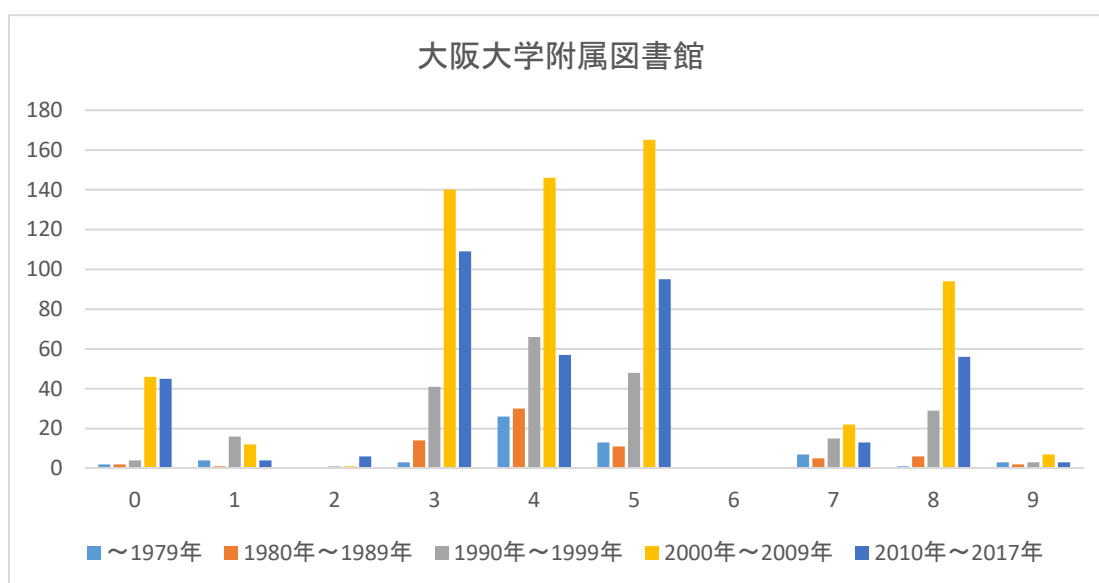


図 3 大阪大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

各分類で多く占めている出版年は、「総記」は 2000 年～2009 年、「哲学」は 1980 年～1989 年、「歴史」は 2010 年～2017 年、「社会科学」は 2000 年～2009 年、「自然科学」は 2000 年～2009 年、「技術・工学」は 2000 年、「芸術・美術」は 2000 年～2009 年、「言語」は 2000 年～2009 年、「文学」2000 年～2009 年と分かる。

### 4.3.2 神戸大学附属図書館

神戸大学附属図書館には合計 29 個のパスファインダーがあり、「附属図書館パスファインダー KULiP」というページの中で「授業資料ガイド」として掲げている。全てのパスファインダーは「全学共通授業科目」「専門科目@総合・国際文化学図書館」「専門科目@社会科学系図書館」「専門科目@人文科学図書館」「専門科目@海事科学分館」の 5 つに分かれている。図書館と教員が共同作業でパスファインダーを作成していて、2017 年 10 月 16 日現在、最新更新日は 2017 年 10 月 10 日である（最終確認日 2017 年 10 月 16 日）。

各パスファインダーには、HTML 形式と PDF 形式の二つが用意されている。HTML 形式からは印刷用として PDF 形式にリンクが張られている。図書の書名をクリックすると OPAC に飛び、教科書や参考書の場合、担当教員のコメントが付いている。

パスファインダーを NDC によって分類すると図 3 のようになった。「哲学」「歴史」「社会科学」「自然科学」「技術・工学」のパスファインダーがあるが、「社会科学」と「自然科学」が大きな部分を占めている。



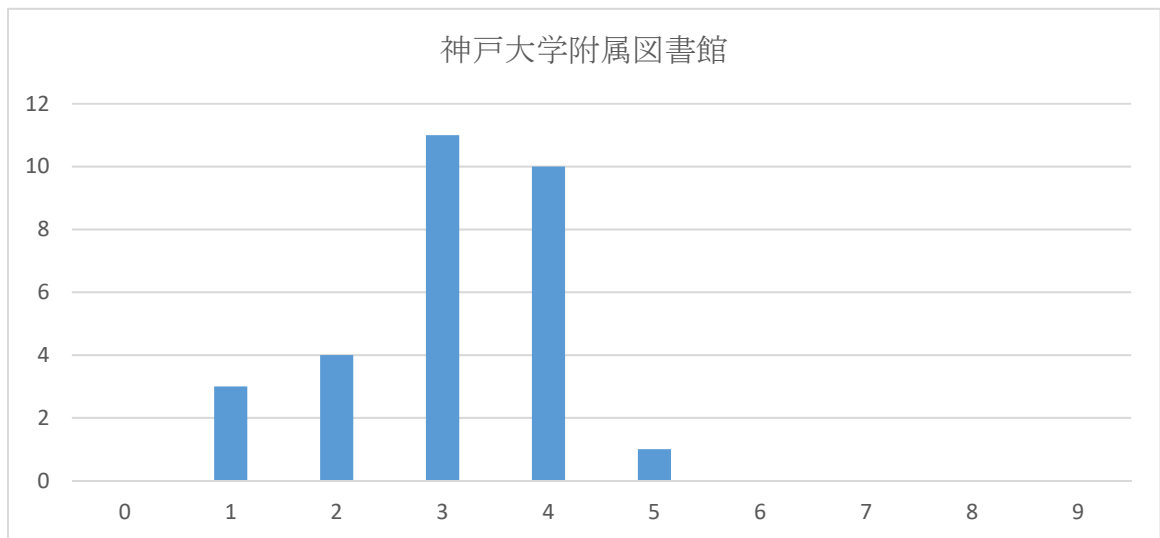


図 4 神戸大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 5 のようになった。出版年が 2010 年～2017 年の図書が多く占めていることが分かる。

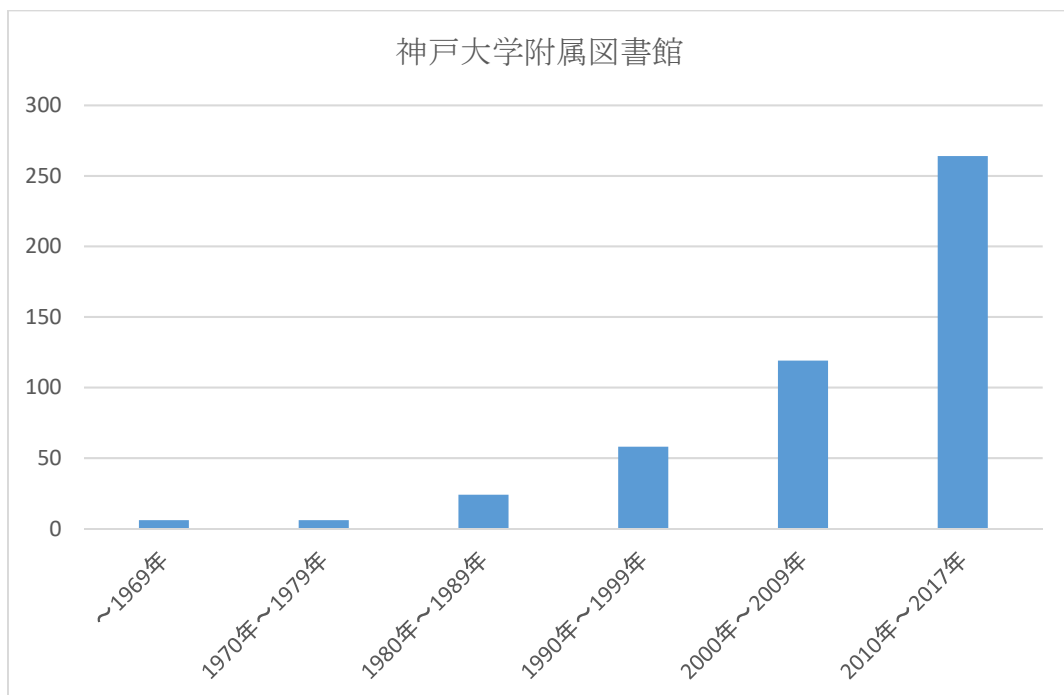


図 5 神戸大学附属図書館推薦図書出版年

神戸大学附属図書館のパスファインダー推薦図書の NDC 分類と出版年をまとめた結果は図 6 のようになった。「哲学」「歴史」「社会科学」「自然科学」に関する推薦図書は 2010 年

～2017 年が多く、「技術・工学」は 2000 年～2009 年の図書が多いである。

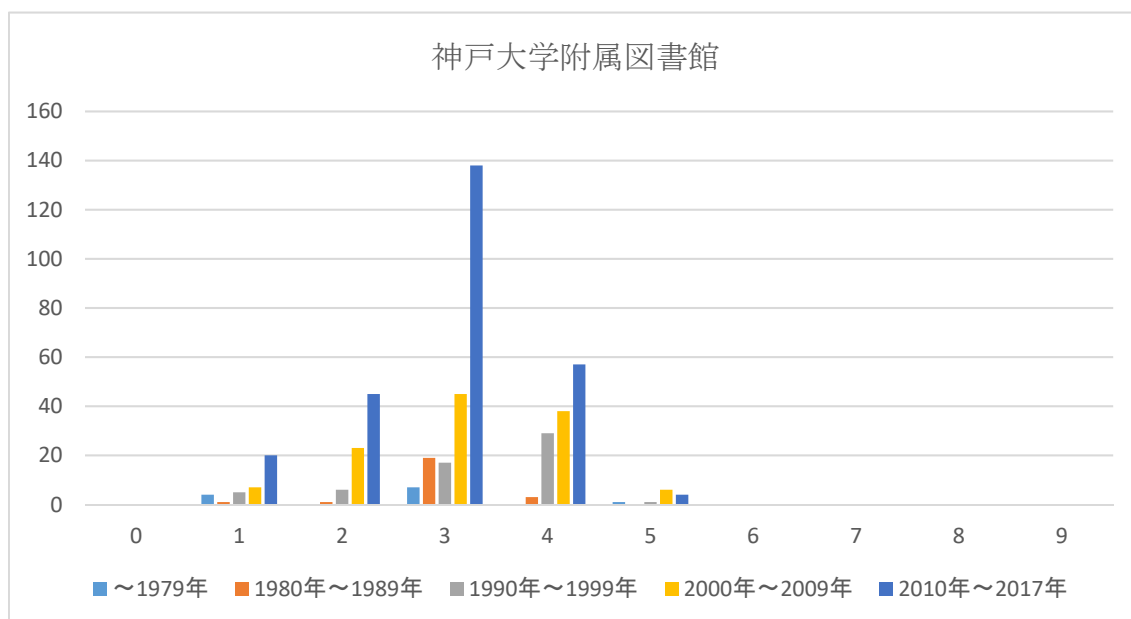


図 6 神戸大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

### 4.3.3 名古屋大学附属図書館

名古屋大学附属図書館は、「授業で探す」と「テーマで探す」の 2 つに分けて、合計 103 個のパスファインダーを掲げている。名古屋大学附属図書館は、パスファインダーの更新日を記載していない。このため本研究ではそれらの更新日は把握できなかった。

書名の転記ミスが見られることがあり、「日本における外国人問題」というパスファインダーで、「移民国家ニッポン：100 万人の移民が日本を救う」という図書が推薦されているが、正しい書名は「移民国家ニッポン：1000 万人の移民が日本を救う」である。

パスファインダーの特徴としては、学生向けに検索エンジン Google と Yahoo に関するコメントを掲示していて、“インターネットの情報は誰でも発信ができるため、必ず正確だとは限らない。複数の情報源で確認し、裏づけをとることが重要。”と述べている。また、図書館資料だけでなく、「実物を見に行こう」と博物館、科学館や公園などを紹介している。

パスファインダーを NDC によって分類すると図 7 のようになった。各分類の図書が推薦しているが、「歴史」「社会科学」「自然科学」が大きな部分に占めていることが分かる。

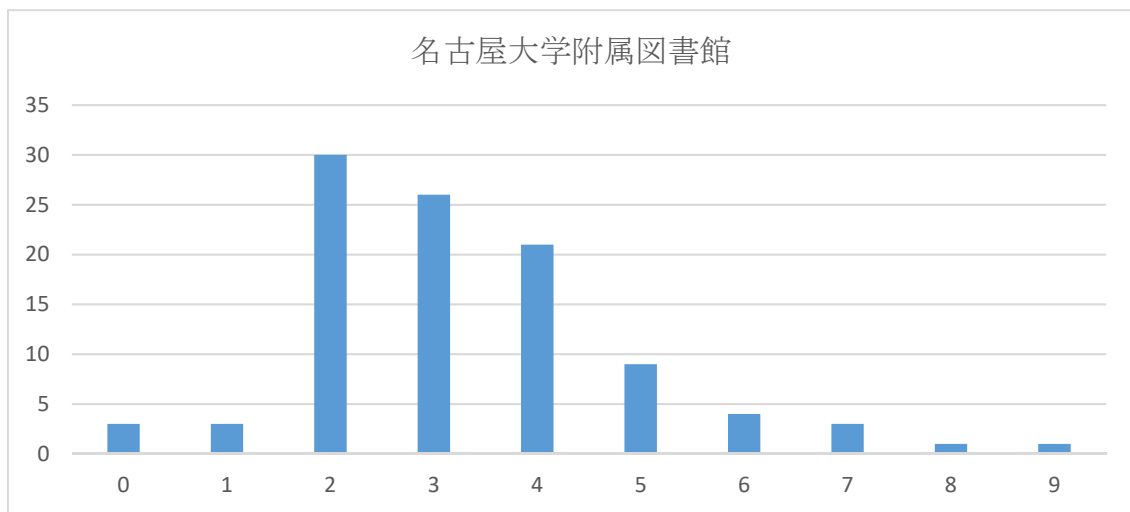


図 7 名古屋大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 8 のようになった。出版年が 2000 年～2009 年の図書が最も多く、次に 1990 年～1999 年が占めている。

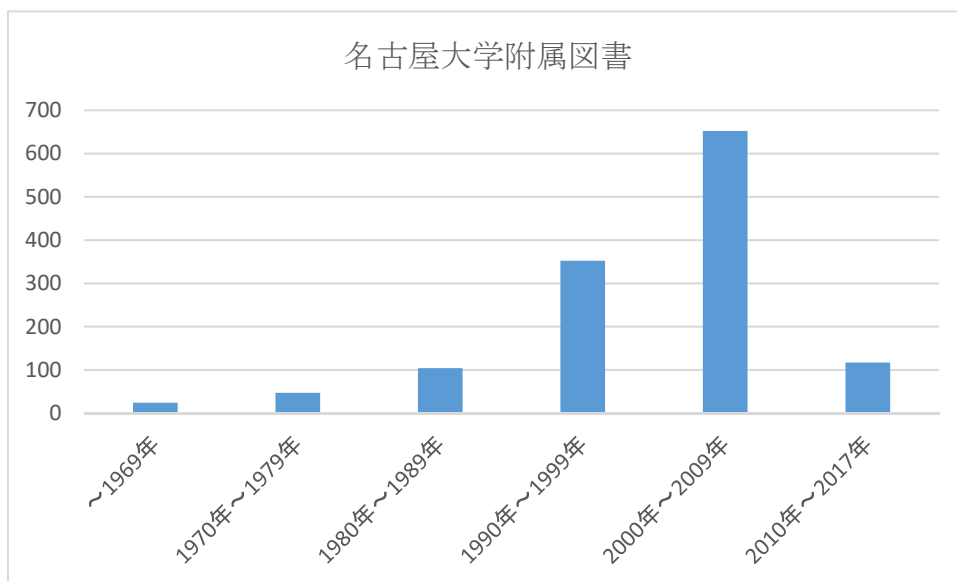


図 8 名古屋大学附属図書館推薦図書出版年

名古屋大学附属図書館のパスファインダー推薦図書の NDC 分類と出版年をまとめた結果は図 9 のようになった。「総記」「哲学」「社会科学」「自然科学」「技術・工学」「産業」は出版年 2000 年～2009 年が多くを占めている。「歴史」「芸術・美術」は出版年 1990 年～1999 年が多いことが分かる。

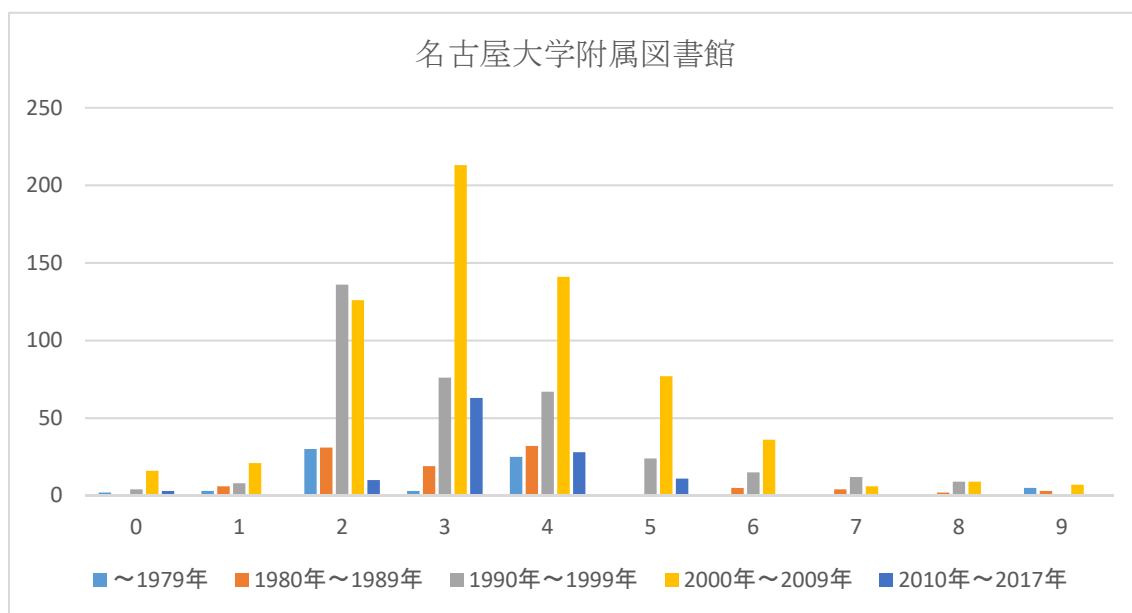


図 9 名古屋大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

#### 4.3.4 法政大学図書館

法政大学図書館は計 26 個のパスファインダーを掲げている。学習支援として「パスファインダー（調べ方の近道ガイド）」と表記、「人文科学系」「社会科学系」「経済・経営系」「自然科学系」「技術系」と 5 つに分けているが、図 10 のように「社会科学」が大きな部分を占めていることが分かる。パスファインダーの最新更新日は 2016 年 3 月である（最終確認日 2017 年 10 月 31 日）。

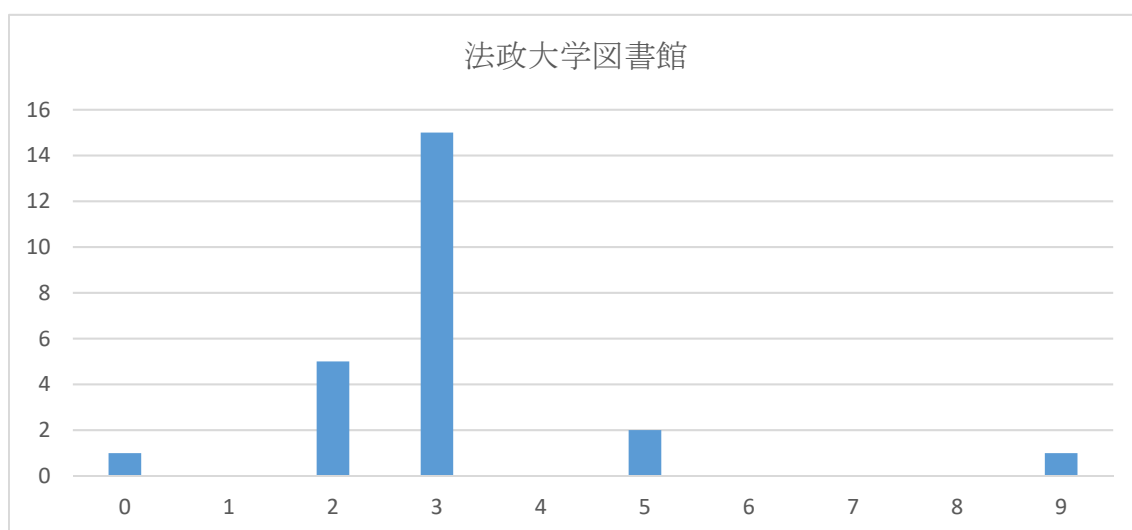


図 10 法政大学図書館パスファインダーの NDC 分類

法政大学図書館のパスファインダーの推薦図書出版年をまとめた結果、出版年 2000 年～

2009 年と 2010 年～2017 年の図書が多く、2010 年～2017 年が最も多いことが分かる。

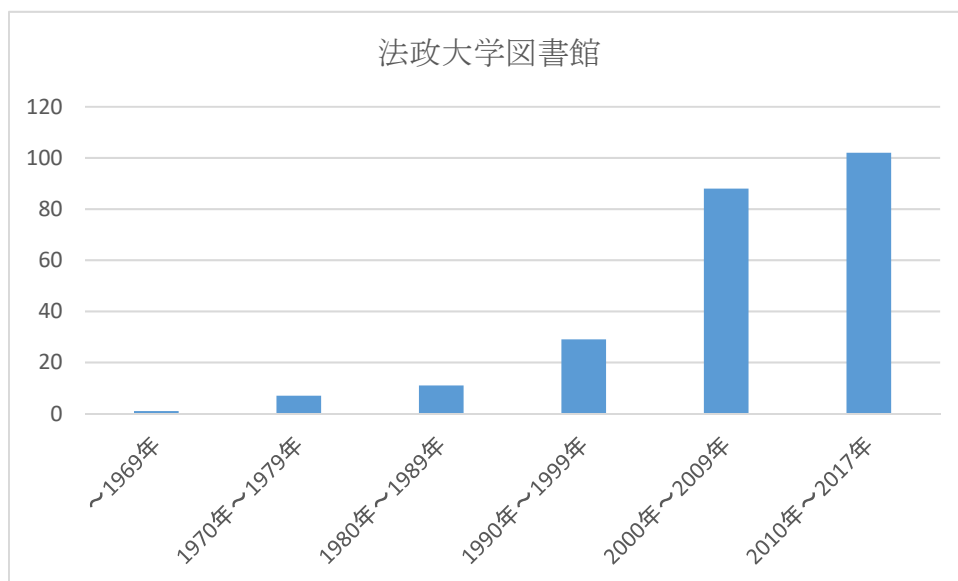


図 11 法政大学図書館推薦図書出版年

図 12 のようにパスファインダーの推薦図書の NDC と出版年の対照の結果、最も多く推薦している NDC 分類の「歴史」「社会科学」の図書は出版年 2010 年～2017 年が多い。

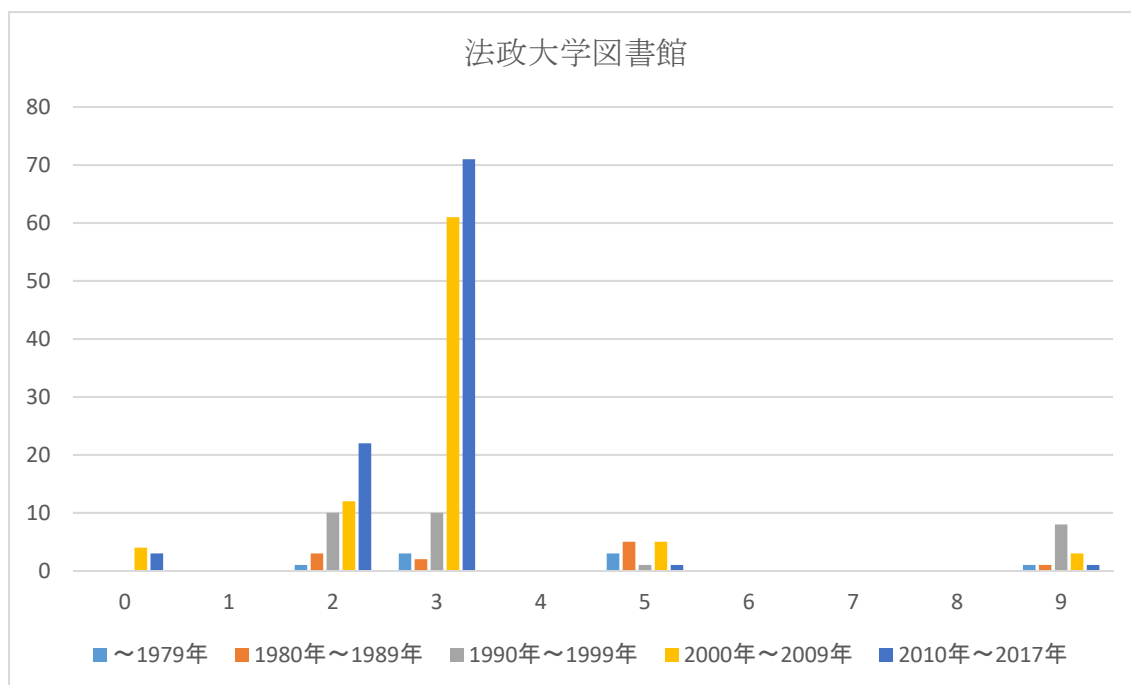


図 12 法政大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

#### 4.3.5 首都大学東京図書館

首都大学東京図書館は本館、日野館、荒川館があり、荒川館がパスファインダーを作成している。主にシラバスや授業科目に基づいて、授業を行う教員と相談し、図書館が作成したものである。計 33 個のパスファインダーは大きく「2 年生」「3 年生」「4 年生」と分類し、更に「看護学科」「理学療法学科」「作業療法学科」など、学科ごとにパスファインダーを紹介している。

パスファインダーを NDC によって分類すると図 13 のようになった。「自然科学」が大きな部分を占めている。パスファインダーの最新更新日は 2017 年 10 月 17 日である（最終確認日 2017 年 10 月 31 日）。

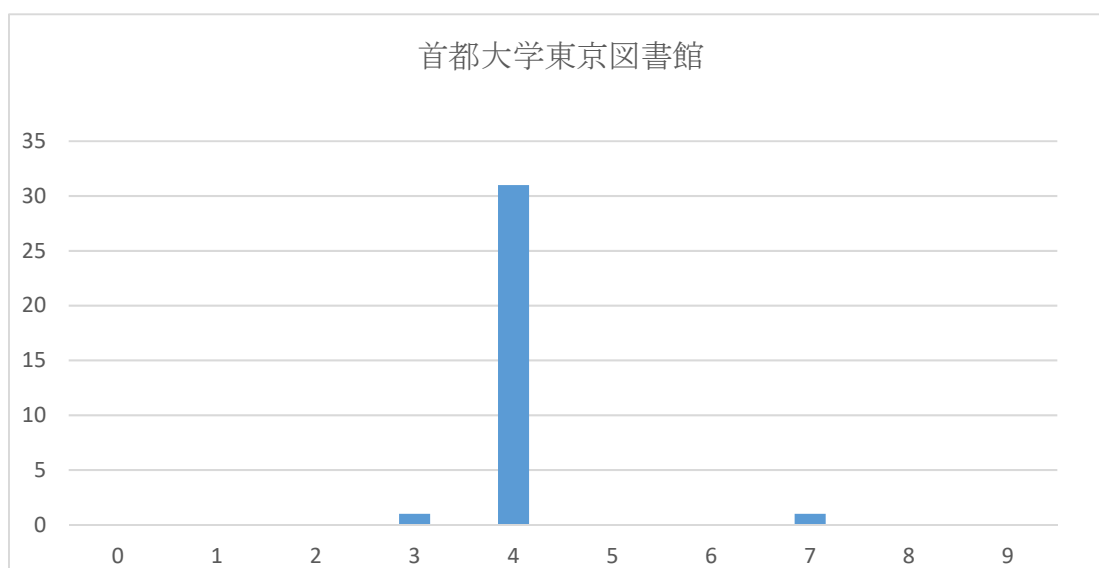


図 13 首都大学東京図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書出版年をまとめた結果は図 14 のようになった。出版年 2000 年～2009 年と 2010 年～2017 年が多く占めていることが分かる。

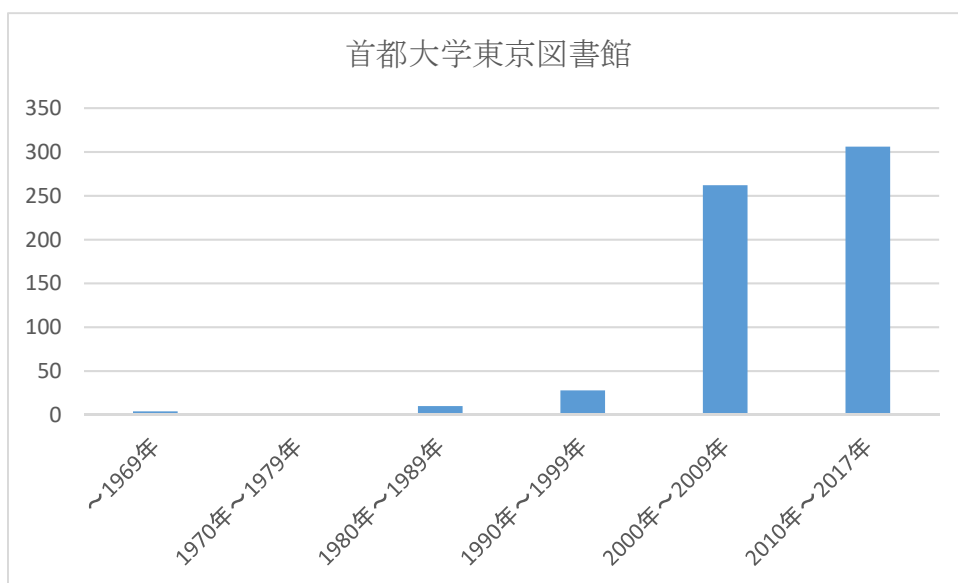


図 14 首都大学東京図書館推薦図書出版年

首都大学東京図書館のパスファインダー推薦図書のNDC分類と出版年をまとめた結果は図9のようになった。大きな部分の図書を占めている「自然科学」は出版年2000年～2009年と2010年～2017年の図書が多いことが分かる。

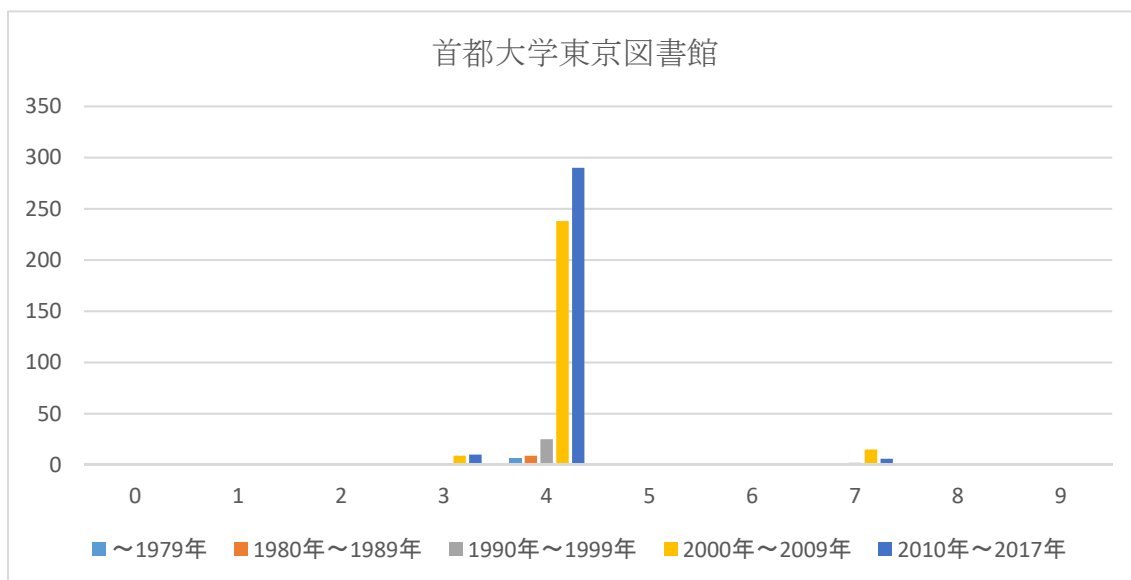


図 15 首都大学東京図書館パスファインダーのNDCと出版年の対照グラフ

#### 4.3.6 福岡大学図書館

福岡大学図書館はパスファインダーを学部ごとに作成している。「学部共通」「人文学部」「法学部」「経済学部」「商学部」「理学部」「工学部」「薬学部」「スポーツ科学部」「医

学部」に分け、計 49 個のパスファインダーを掲げている。パスファインダーの最新更新日は 2017 年 11 月 7 日である（最終確認日 2017 年 11 月 8 日）。

パスファインダーの特徴は、作成者が LA（ライブラリー・アシスタント）である。また、各パスファインダーにアンケートの機能が設けている。アンケートの内容は、「パスファインダーは役に立つか」「どういう点が役に立っているか」「パスファインダーは分かりやすいか」「作成してほしいテーマはあるか」「利用する学生の学部と学年」の 5 つを掲げている。

パスファインダーを NDC によって分類すると図 6 のようになった。「社会科学」「自然科学」が多くを占めていることが分かる。

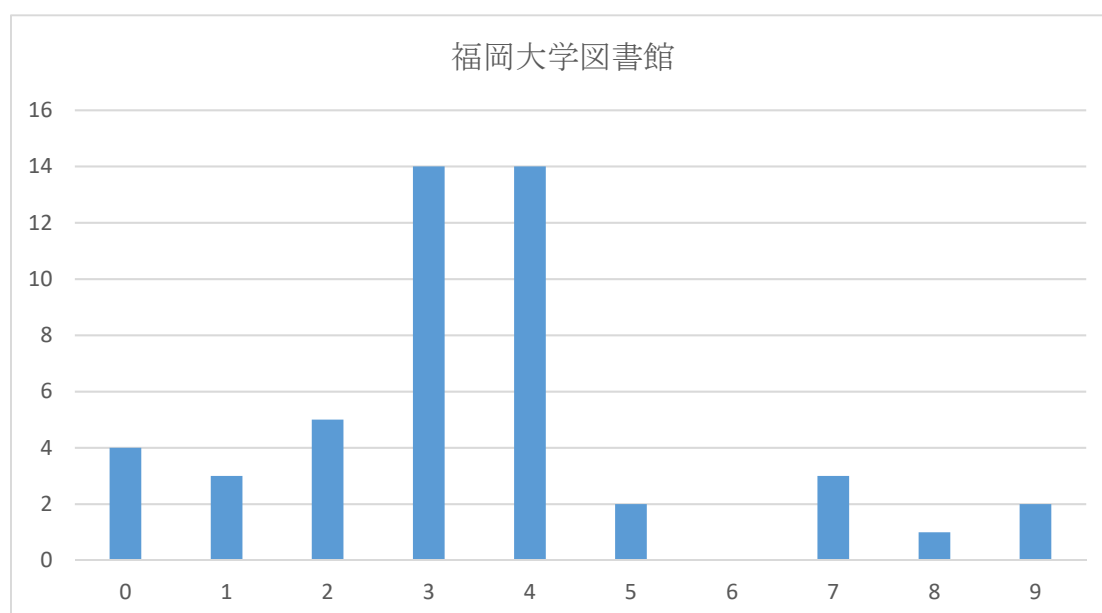


図 16 福岡大学図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書出版年をまとめた結果は図 17 のようになった。出版年 2000 年～2009 年の図書が最も多く、次は出版年 2010 年～2017 年が多いことが分かる。



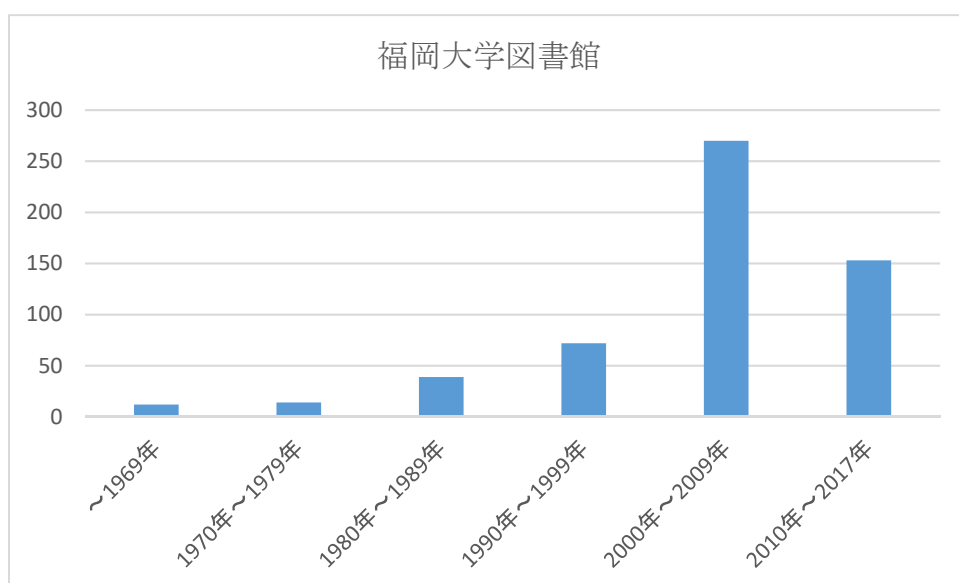


図 17 福岡大学図書館推薦図書出版年

福岡大学図書館のパスファインダー推薦図書の NDC 分類と出版年をまとめた結果は図 18 のようになった。「哲学」「歴史」「社会科学」「技術・工学」「芸術・美術」「言語」「文学」は出版年 2000 年～2009 年の図書が多く、「総記」は出版年 1990 年～1999 年の図書が多く、「自然科学」に関する図書は出版年 2010 年～2017 年が多いことが分かる。

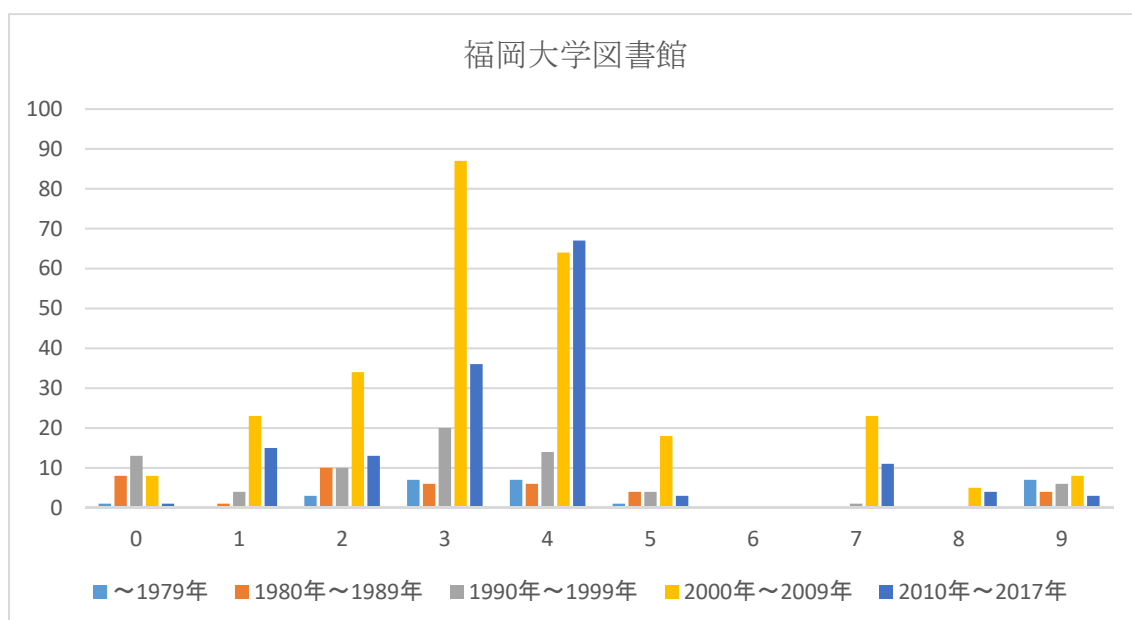


図 18 福岡大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

#### 4.3.7 東洋大学附属図書館

東洋大学附属図書館のパスファインダーは「学習支援」として、「図書館を上手に活用する方法-パスファインダー」を掲げている。

計 12 個のパスファインダーは図書館活用に役立つためのパスファインダーであるが、本研究の第 3 章で述べた定義の“(2)特定のトピックを扱っていること”と一致するものは 3 つだけであった。

パスファインダーを NDC によって分類すると図 19 のようになった。主に「総記」と「社会科学」のパスファインダーを作成していることが分かる。最新更新日は 2017 年 4 月である（最終確認日 2017 年 11 月 3 日）。

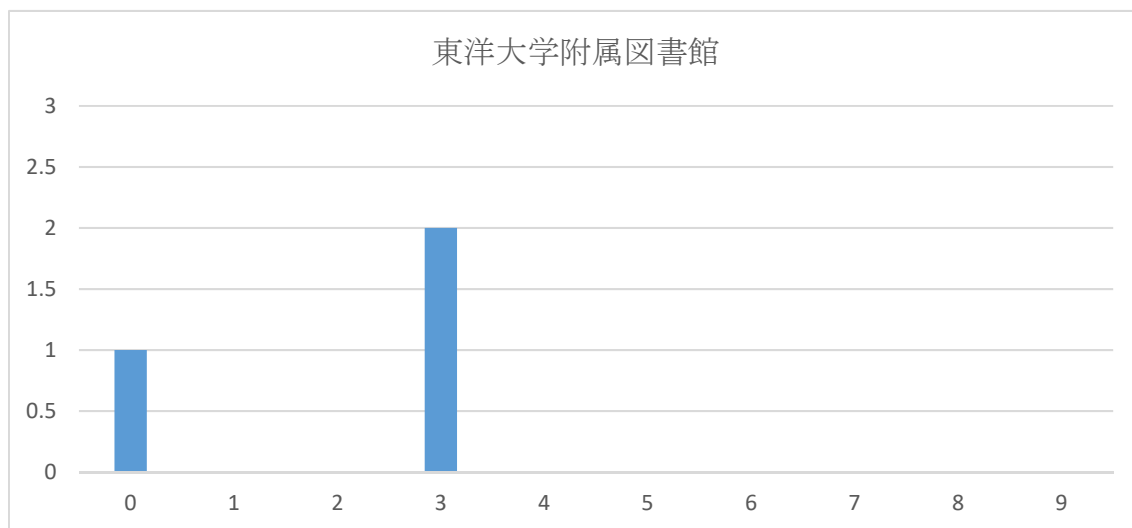


図 19 東洋大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書出版年をまとめた結果は図 20 のようになった。出版年 2010 年～2017 年の図書が大きな部分を占めていることが分かる。

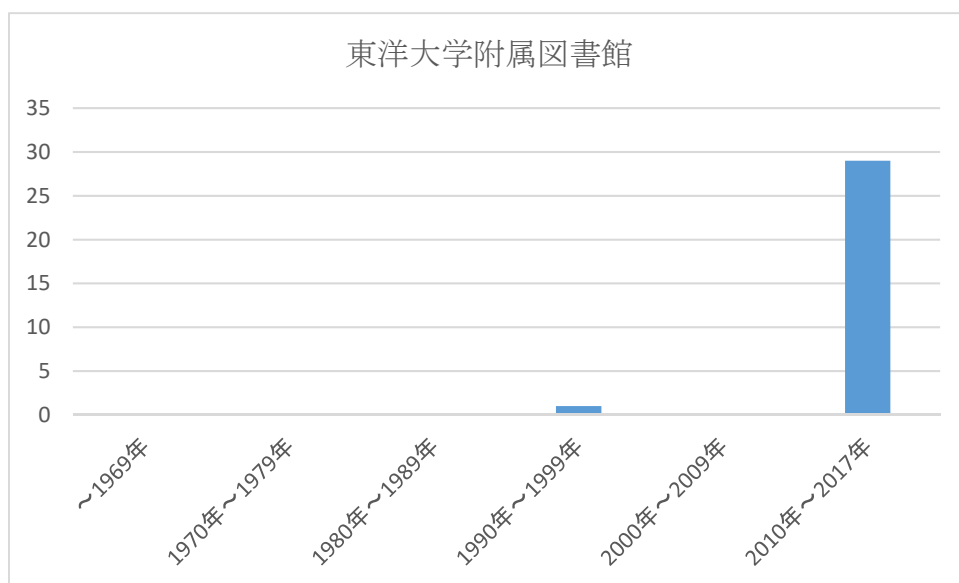


図 20 東洋大学附属図書館推薦図書出版年

東洋大学附属図書館のパスファインダー推薦図書の NDC 分類と出版年をまとめた結果は図 21 のようになった。「総記」と「社会科学」は主に出版年 2010 年～2017 年の図書を推薦していることが分かる。

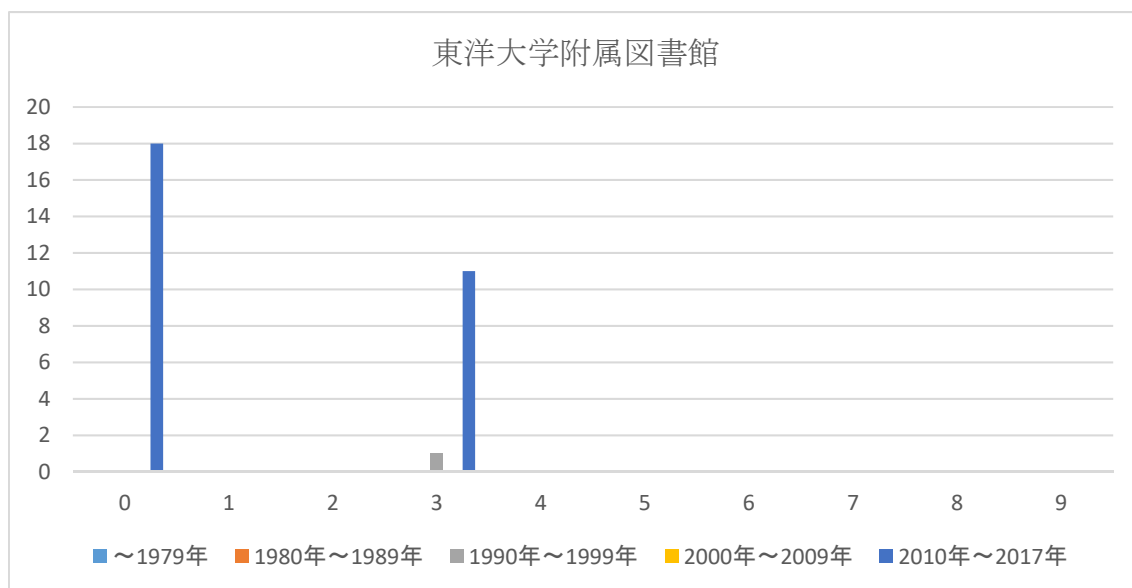


図 21 東洋大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

#### 4.3.8 千葉大学附属図書館

千葉大学図書館のパスファインダーは「授業資料ナビゲータ」と名付けている。授業を行う教員と図書館員が共同作業で作成したものである。計 52 個のパスファインダーがあり、

「教養コア」「教養展開科目」「文学部」「国際教養学部」の4つに分けている。パスファインダーの最新更新日は2017年である（最終確認日2017年11月4日）。

パスファインダーの特徴は、図書館に「授業資料ナビコーナー」を設置し、パスファインダーに掲載されている推薦図書は「貸出可」と「館内利用」の2冊を用意している。

パスファインダーをNDCによって分類すると図22のようになった。各分類のパスファインダーを作成しているが、「社会科学」が最も多いことが分かる。

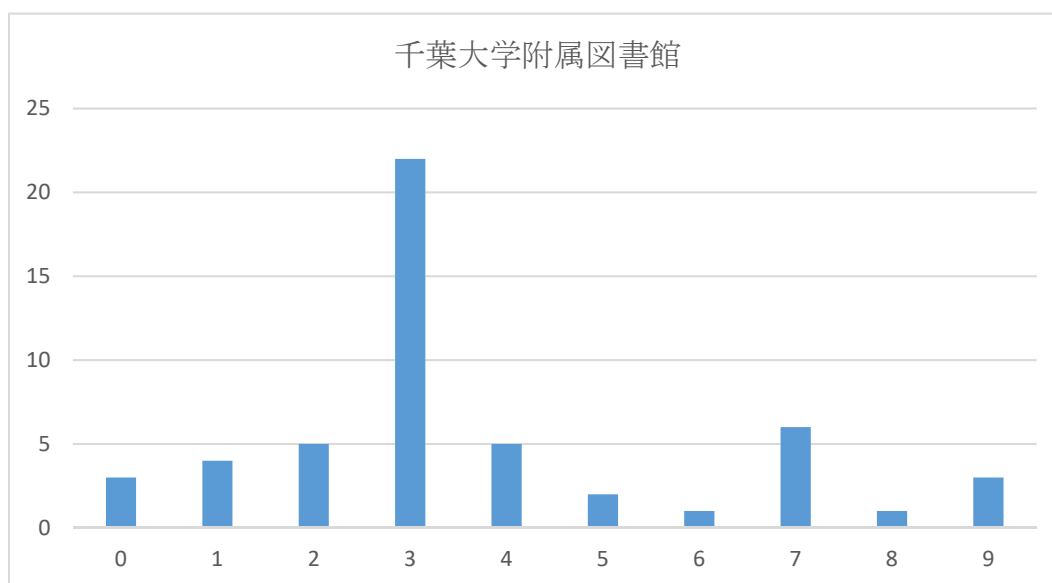


図 22 千葉大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書出版年をまとめた結果は図23のようになった。出版年2010年～2017年と2000年～2009年の図書が大きな部分を占めていることが分かる。

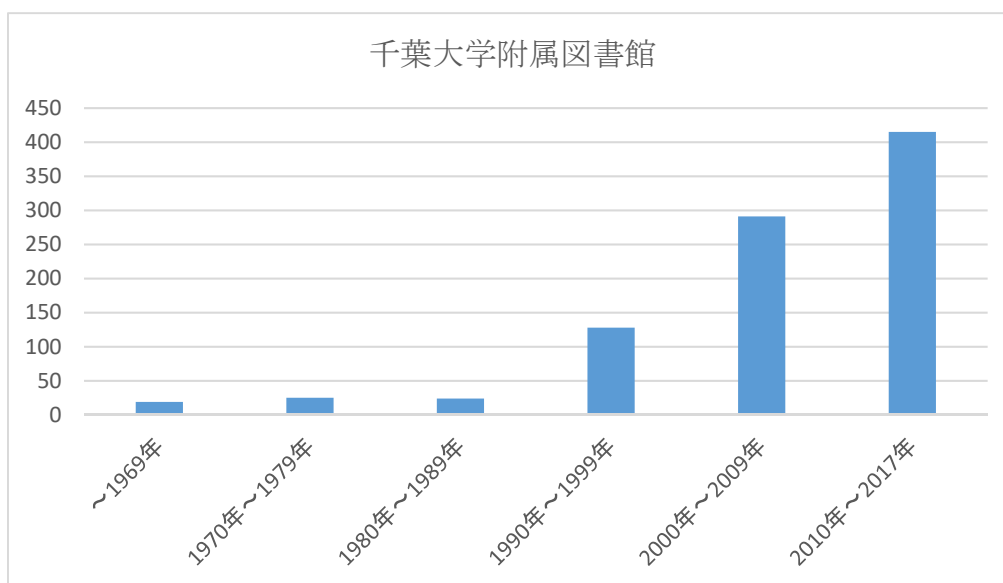


図 23 千葉大学附属図書館推薦図書出版年

千葉大学附属図書館のパスファインダー推薦図書のNDC分類と出版年をまとめた結果は図24のようになった。「総記」「哲学」「社会科学」「自然科学」「産業」「芸術・美術」は出版年2010年～2017年が多くを占めているが、「歴史」「技術・工学」「文学」は2000年～2009年が多くを占めていることが分かる。

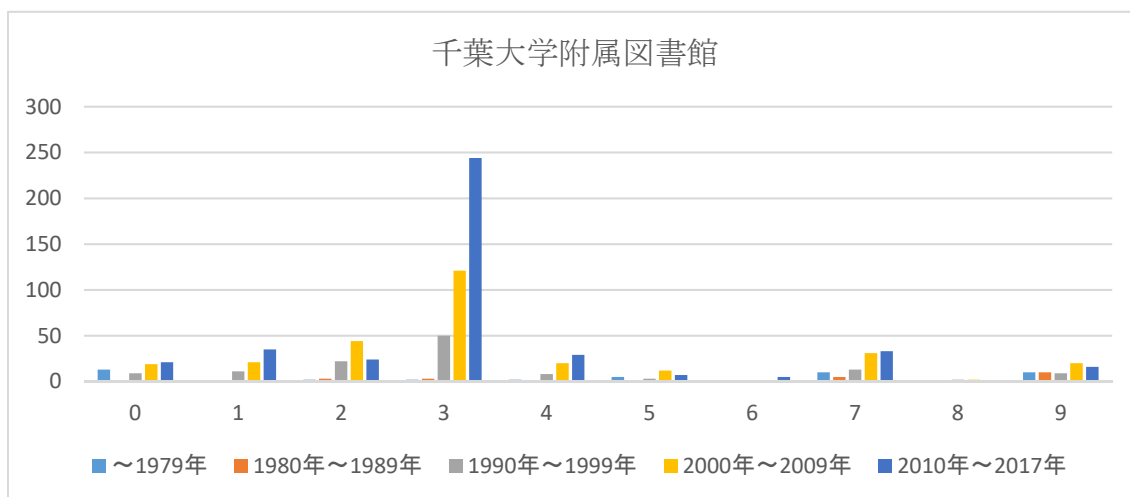


図 24 千葉大学附属図書館パスファインダーのNDCと出版年の対照グラフ

#### 4.3.9 愛知学院大学図書館情報センター

愛知学院大学図書館情報センターは計8個のパスファインダーを掲げている。特徴は、パスファインダーのリンクが張られているが、クリックすると「レファレンス協同データベー

ス」に飛び、その提供館は愛知学院大学図書館情報センターとなっている。最新更新日は2012年3月21日である（最終確認日11月5日）。

パスファインダーをNDCによって分類すると図25のようになった。「哲学」「社会科学」「自然科学」に関するパスファインダーがあるが、「社会科学」と「自然科学」は大きな部分を占めていることが分かる。

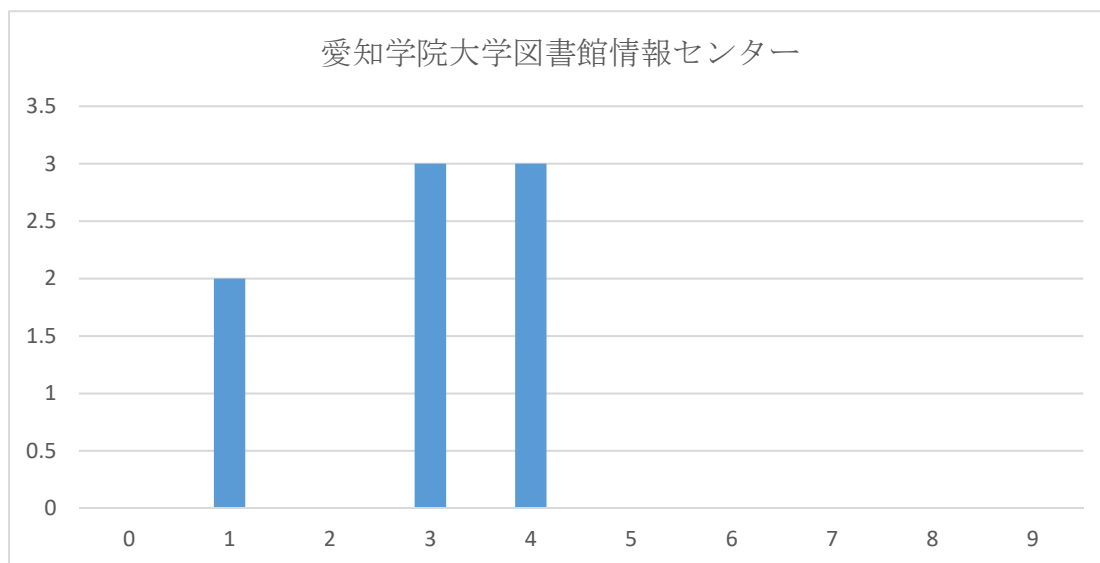


図 25 愛知学院大学図書館情報センターパスファインダーのNDC分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図26のようになった。出版年が2000年～2009年の図書は多くを占めていることが分かる。

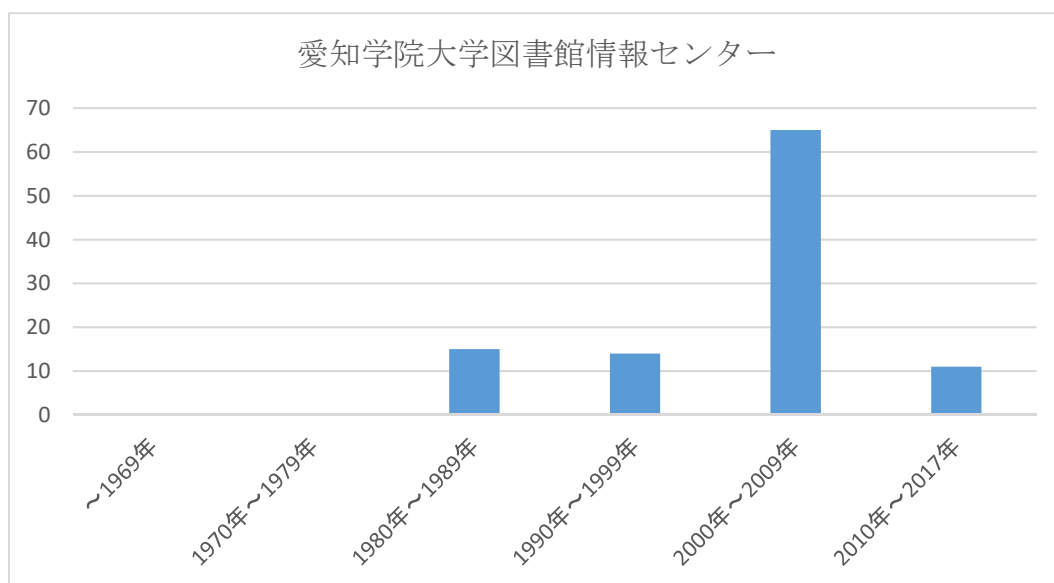


図 26 愛知学院大学図書館情報センター推薦図書出版年

愛知学院大学図書館情報センターのパスファインダー推薦図書のNDC分類と出版年をまとめた結果は図 27 のようになった。「哲学」「社会科学」「自然科学」は出版年 2000 年～2009 年の図書が多くを占めていることが分かる。

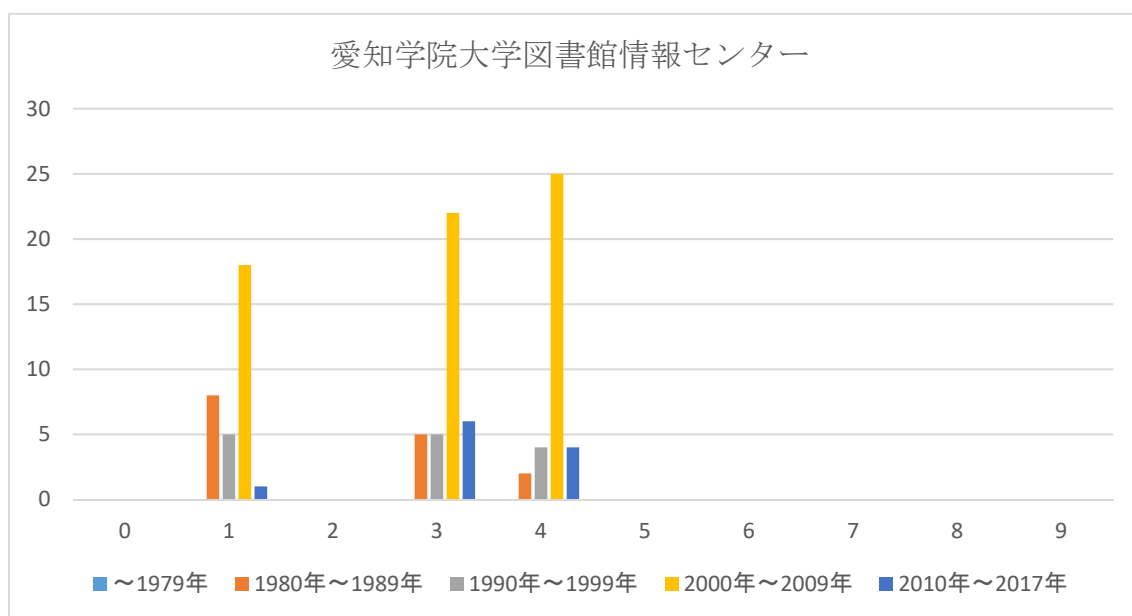


図 27 愛知学院大学図書館センターパスファインダーのNDCと出版年の対照グラフ

#### 4.3.10 神奈川大学図書館

神奈川大学図書館のパスファインダーは「基本のパスファインダー」と「テーマ別パスファインダー」に別れている。計 18 個のパスファインダーを掲げているが、「就活に役立つ業界／企業情報の探し方」は館内配布のみと表記されているため、本研究では 17 個のパスファインダーの情報を収集した。最新更新日は 2017 年 9 月 4 月である（最終確認日 2017 年 11 月 5 日）。

パスファインダーをNDCによって分類すると図28のようになった。「総記」「歴史」「社会科学」「自然科学」のパスファインダーを作成しているが、「社会科学」のパスファインダーが多くを占めていることが分かる。

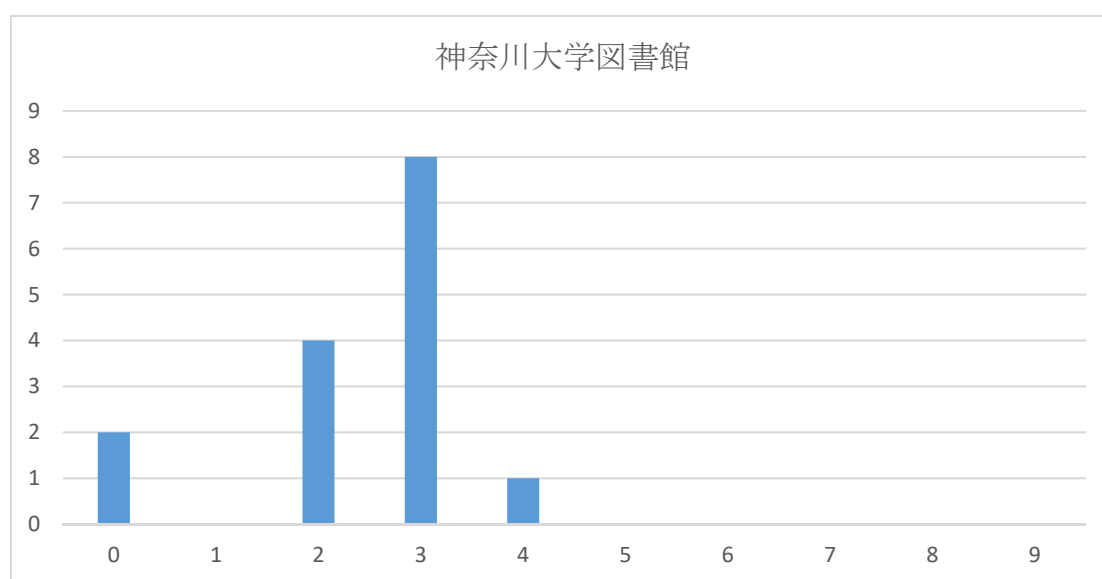


図 28 神奈川大学図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 29 のようになった。出版年 2000 年～2009 年の図書が最も多く、次に出版年 2010～年 2017 年が多いことが分かる。



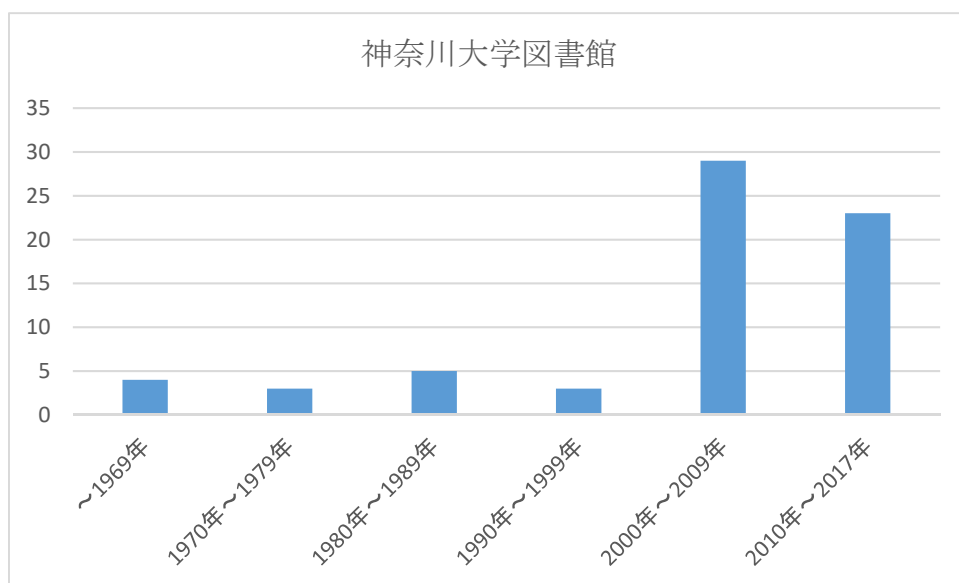


図 29 神奈川大学図書館推薦図書出版年

神奈川大学図書館のパスファインダー推薦図書のNDC分類と出版年をまとめた結果は図30のようになった。「総記」は出版年2010年～2017年の図書のみ推薦しているが、「哲学」「社会科学」「自然科学」は出版年2000年～2009年の図書が多くを占めていることが分かる。

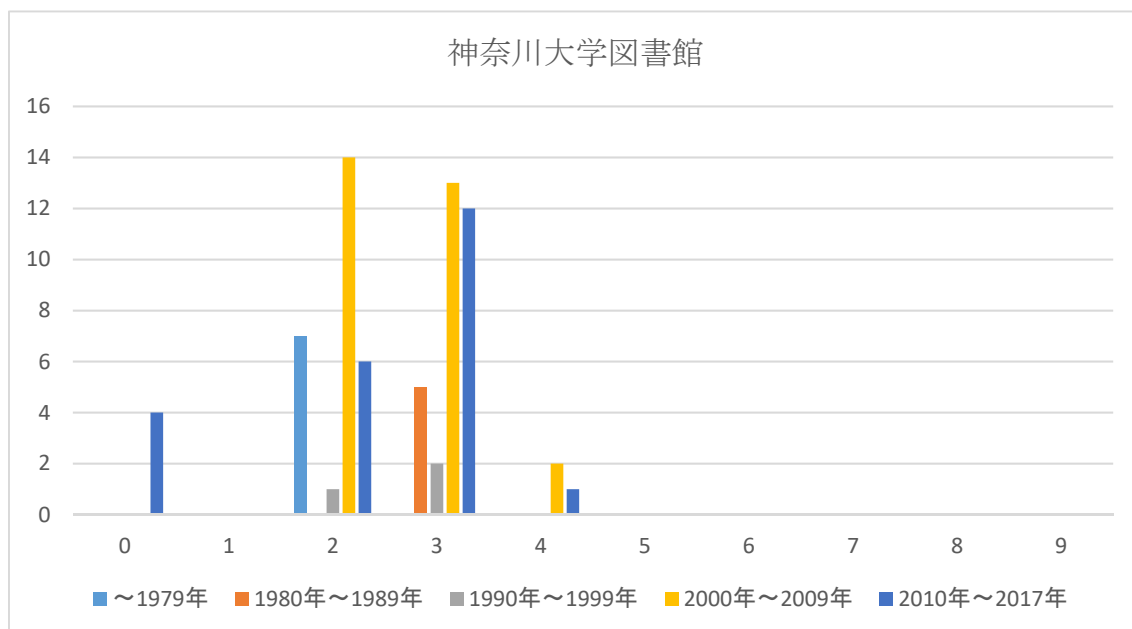


図 30 神奈川大学図書館パスファインダーのNDCと出版年の対照グラフ

#### 4.3.11 東京理科大学図書館

東京理科大学図書館は計 8 個のパスファインダーを「図書館活用ガイド」として掲げている。パスファインダーを NDC によって分類すると図 31 のようになった。「総記」「社会科学」「自然科学」「技術・工学」のパスファインダーを作成している。最新更新日は 2014 年 4 月 4 日である（最終確認日 2017 年 11 月 5 日）。

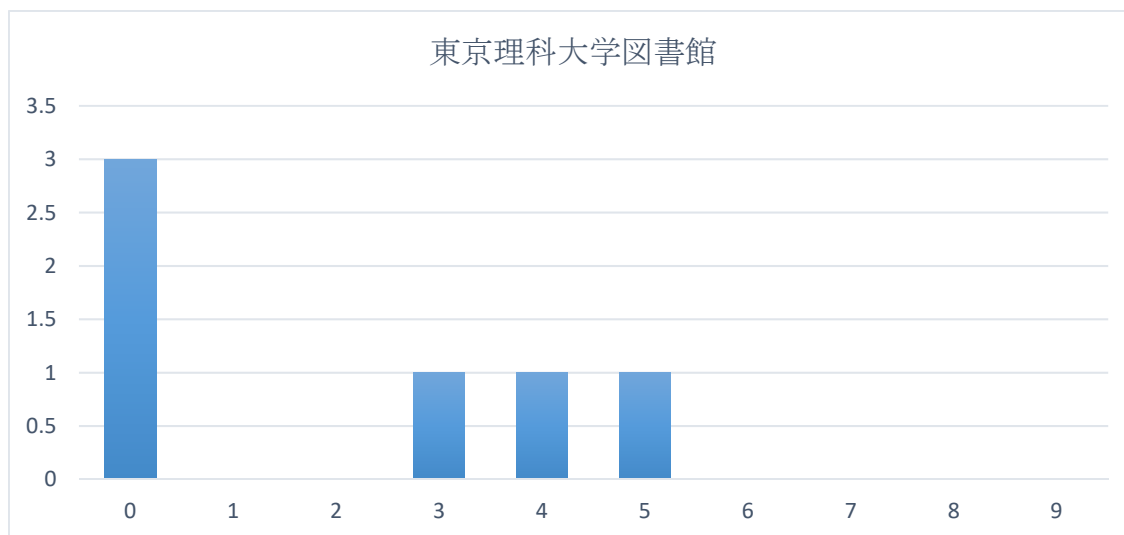


図 31 東京理科大学図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 32 のようになった。出版年 2000 年～2009 年と 2010 年～2017 年の図書が大きな部分を占めていることが分かる。

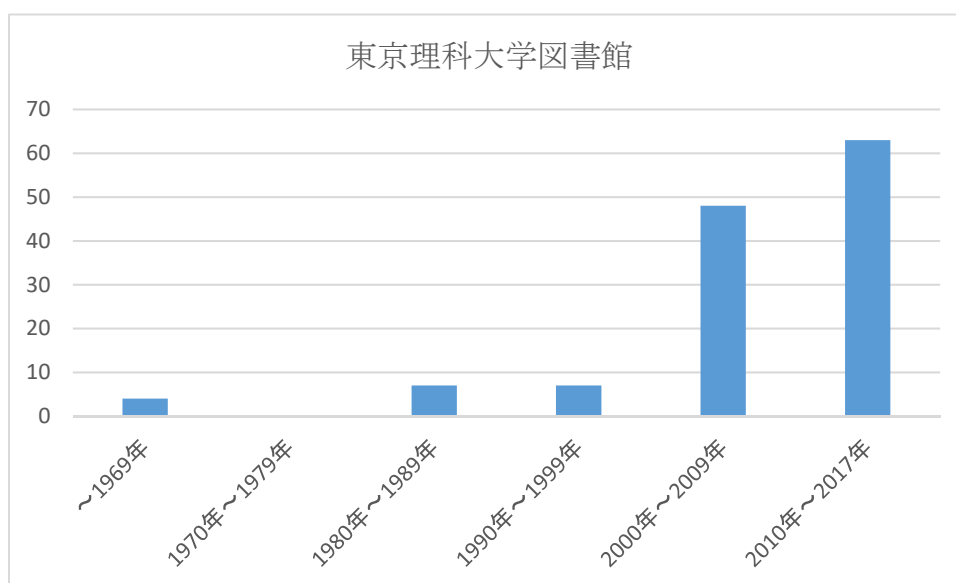


図 32 東京理科大学図書館推薦図書出版年

神奈川大学図書館のパスファインダー推薦図書のNDC分類と出版年をまとめた結果は図30のようになった。「総記」「自然科学」は出版年2000年～2009年の図書が多く、「技術・工学」は出版年2010年～2017年の図書が多く、「社会科学」は出版年2010～2017年の図書のみ推薦していることが分かる。

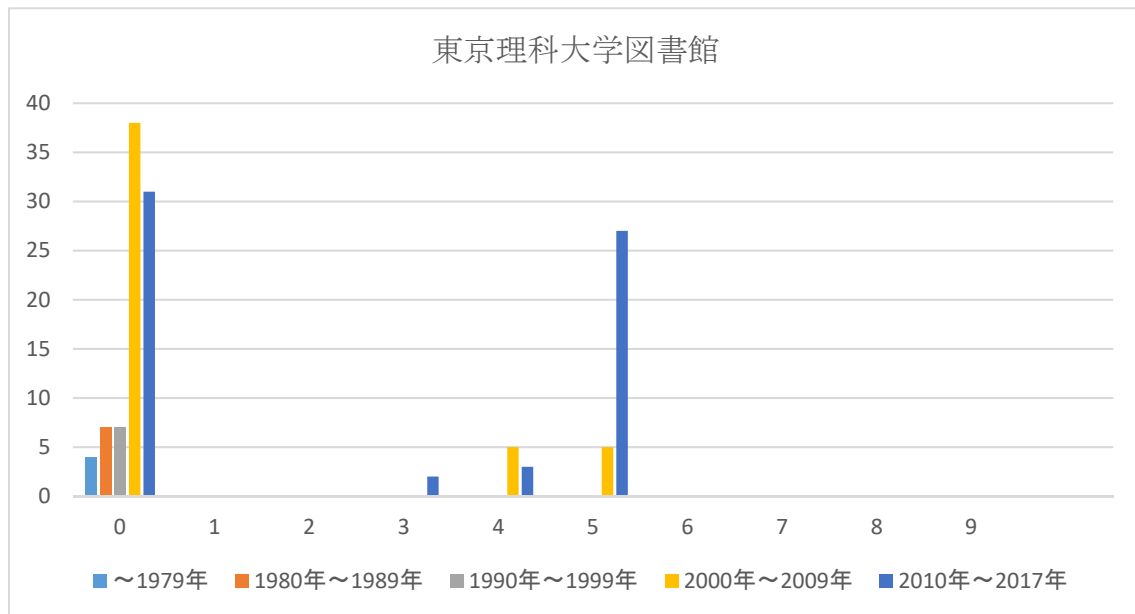


図 33 東京理科大学図書館パスファインダーのNDCと出版年の対照グラフ

#### 4.3.12 城西大学水田記念図書館

城西大学水田記念図書館は計8個のパスファインダーを掲げている。最新更新日は2014年9月である（最終確認日2017年11月5日）。

書名の転記ミスが見られることがあり、「ボランティアについて調べよう」というパスファインダーでは、「ボランテボランティ活動デザインする」という図書を推薦しているが、正しい書名は「ボランティア活動をデザインする」である。

パスファインダーをNDCによって分類すると図34のようになった。「総記」「社会科学」「自然科学」「技術・工学」のパスファインダーを作成しているが、「自然科学」が多くを占めていることが分かる。

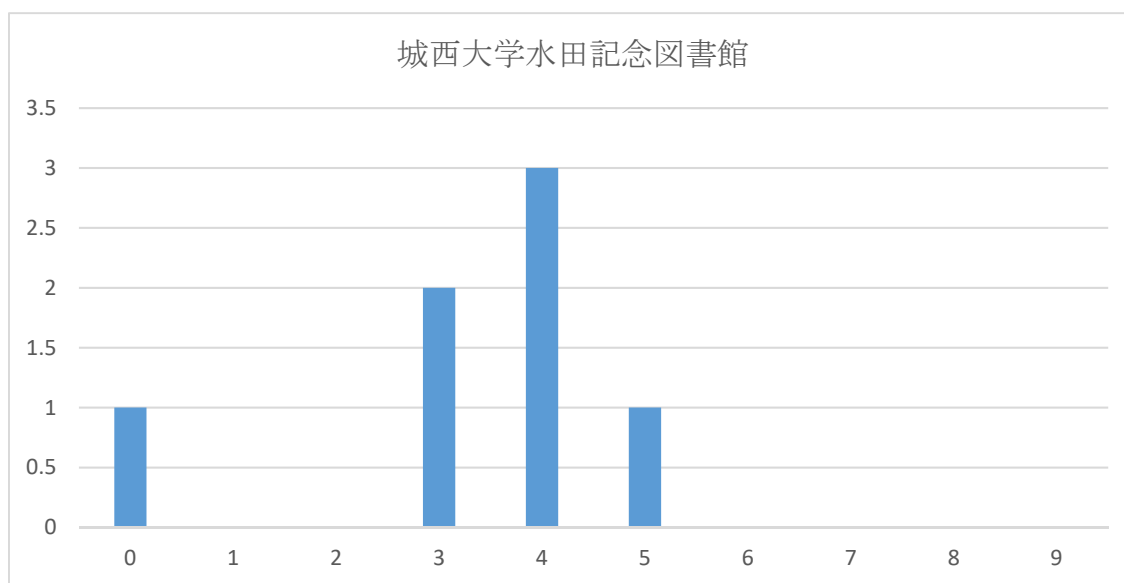


図 34 城西大学水田記念図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 35 のようになった。出版年 2000 年～2009 年、2010 年～2017 年の図書が大きな部分を占めていることが分かる。

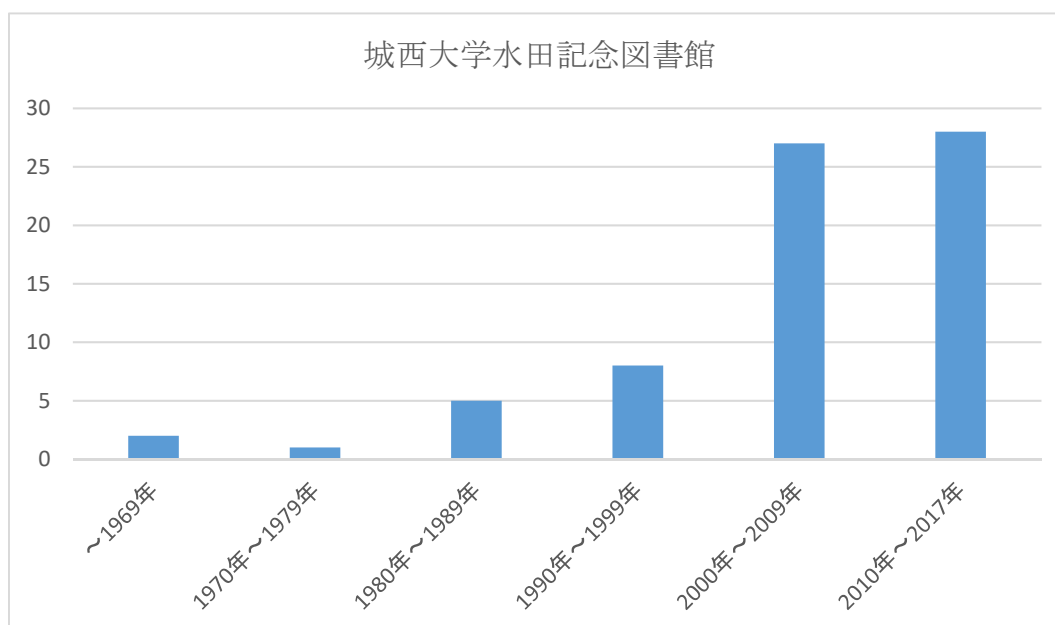


図 35 城西大学水田記念図書館推薦図書出版年

城西大学水田記念大学図書館のパスファインダー推薦図書の NDC 分類と出版年をまとめた結果は図 36 のようになった。「総記」「技術・工学」は出版年 2000 年～2009 年の図書を多く推薦している。「社会科学」「自然科学」は出版年 2010 年～2017 年の図書が多いことが

分かる。

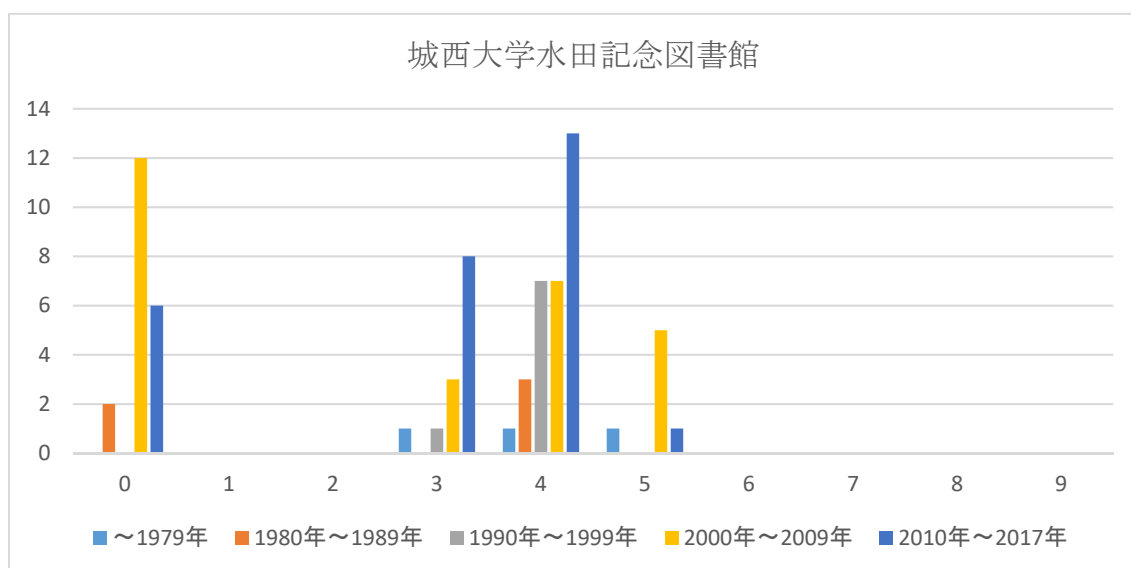


図 36 城西大学水田記念図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

#### 4.3.13 学習院女子大学図書館

学習院女子大学図書館は計 9 個のパスファインダーを、「授業資料ナビ」として掲げている。特徴は各パスファインダーの最後に「文献の探し方から入手法まで —フローチャート—」が付き、学生に文献の探し方などの一連の流れを説明している点である。

パスファインダーを NDC によって分類すると図 37 のようになった。「歴史」「社会科学」「言語」のパスファインダーを作成しているが、「社会科学」が大きな部分を占めていることが分かる。最新更新日は 2016 年 4 月 1 日である（最終確認日 2017 年 11 月 5 日）。

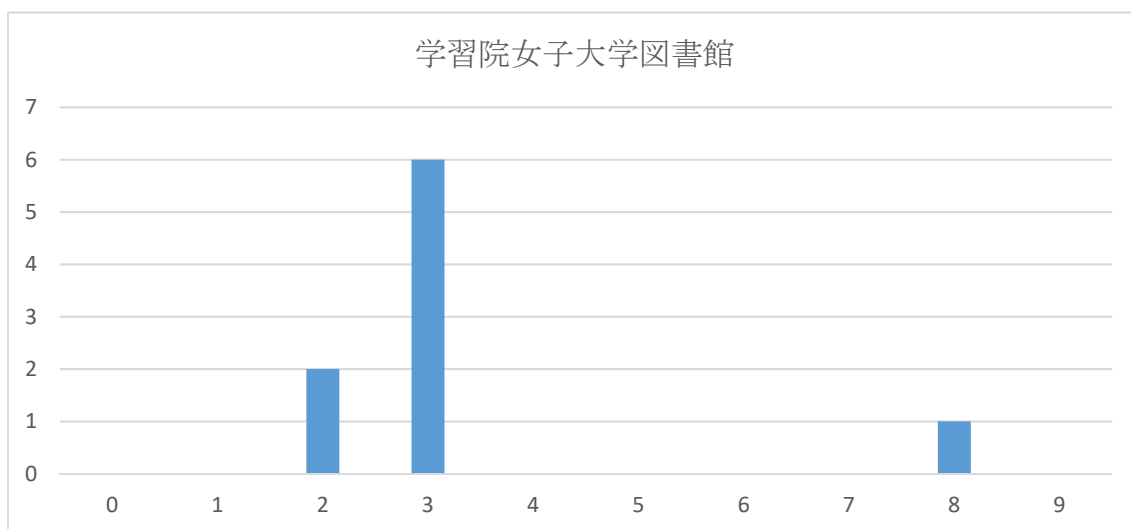


図 37 学習院女子大学図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 38 のようになった。各年代の図書が推薦しているが、出版年 2000 年～2009 年の図書を最も多く推薦している。

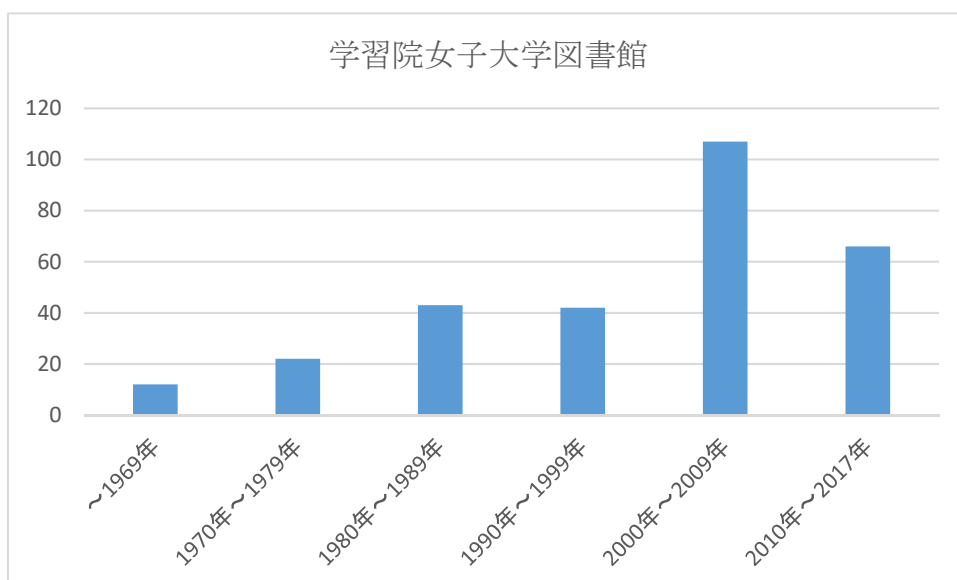


図 38 学習院女子大学図書館推薦図書出版年

学習院女子大学図書館のパスファインダー推薦図書の NDC 分類と出版年をまとめた結果は図 39 のようになった。「歴史」「社会科学」「言語」の推薦図書は出版年 2000 年～2009 年が多いことが分かる。

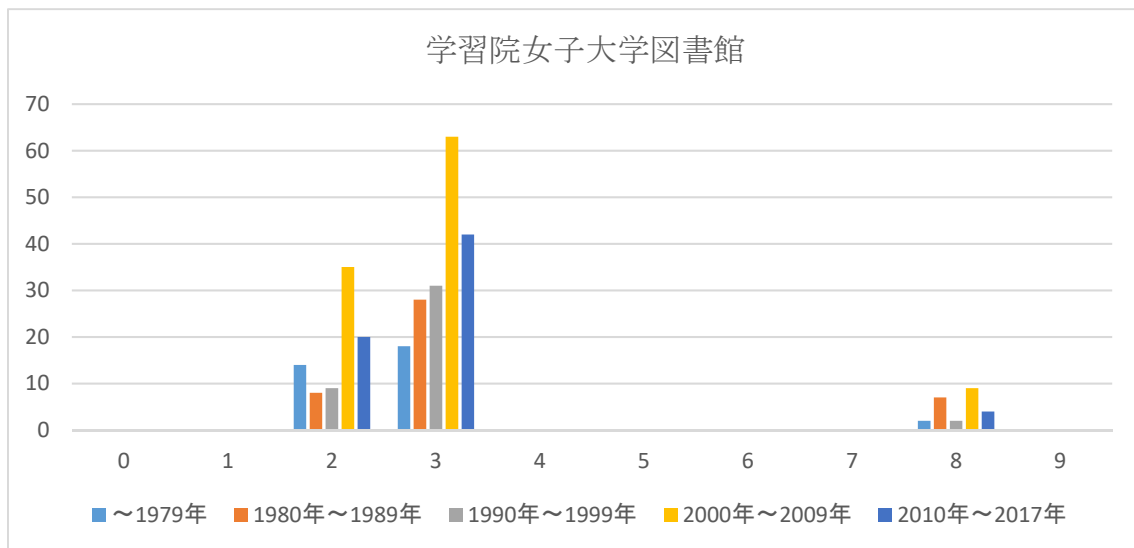


図 39 学習院女子大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

#### 4.3.14 日本社会事業大学附属図書館

日本社会事業大学図書館附属図書館は 1 個のパスファインダーが掲げている。パスファインダーを NDC によって分類すると図 43 のように、「社会科学」パスファインダーを作成していることが分かる。パスファインダーの更新日を記載していないため、更新日は把握できなかった。

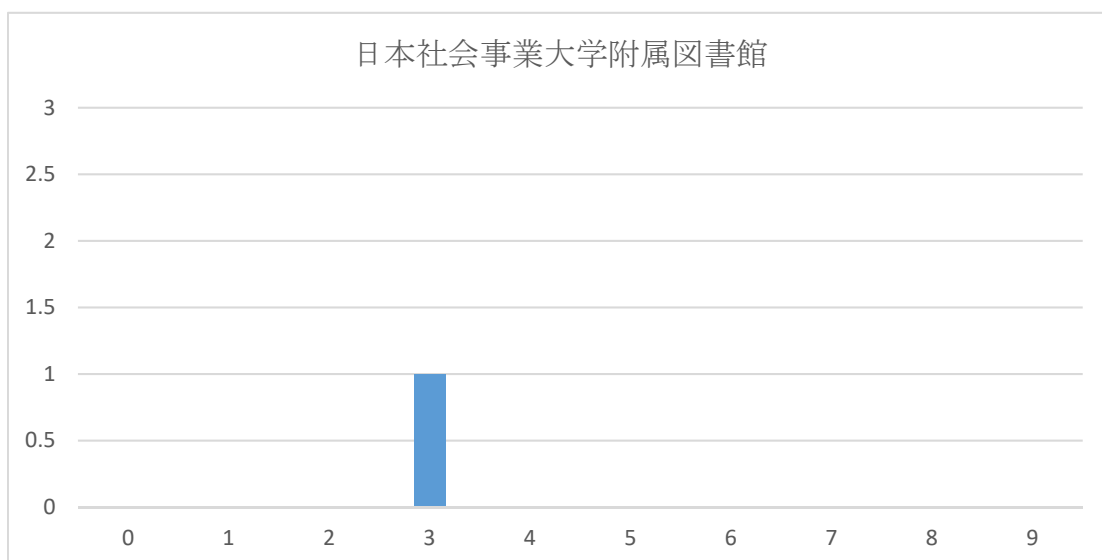


図 40 日本社会事業大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 44 のようになった。出版年

2000 年～2009 年と 2010 年～2017 年の図書を推薦していることが分かる。

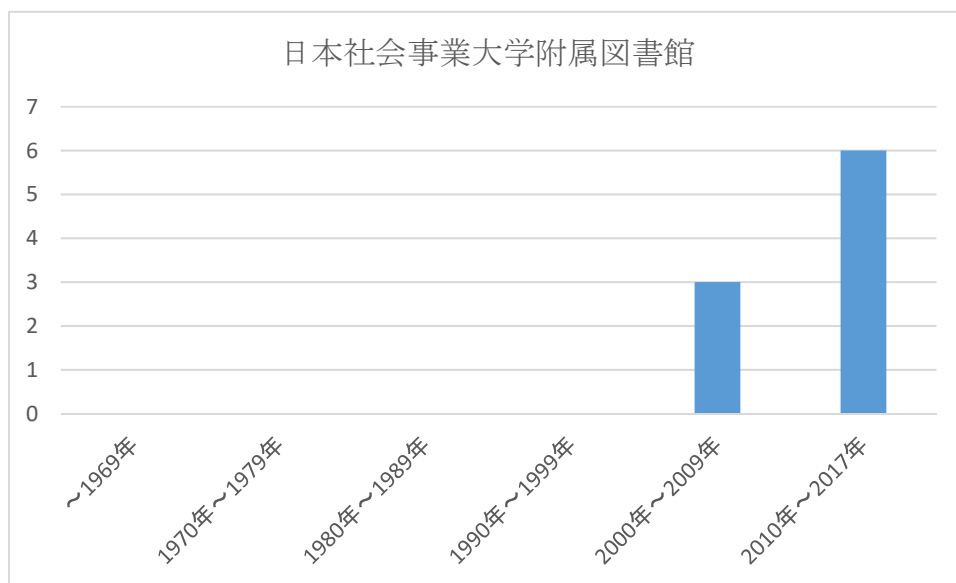


図 41 日本社会事業大学附属図書館推薦図書出版年

#### 4.3.15 中部大学附属三浦記念図書館

中部大学附属三浦記念図書館は計 22 個のパスファインダーを掲げている。しかし、「シェイクスピアについて調べてみよう」というパスファインダーはリンク切れている。パスファインダーについては「新たなテーマについても、順次公開を予定している」と説明してあるが、実際の最新更新日は 2011 年 4 月 6 日である（最終確認日 2017 年 11 月 6 日）。

パスファインダーをNDCによって分類すると図45のようになった。「総記」「社会科学」「自然科学」「技術・工学」「芸術・美術」「文学」のパスファインダーを作成しているが、「社会科学」が多くを占めていることが分かる。



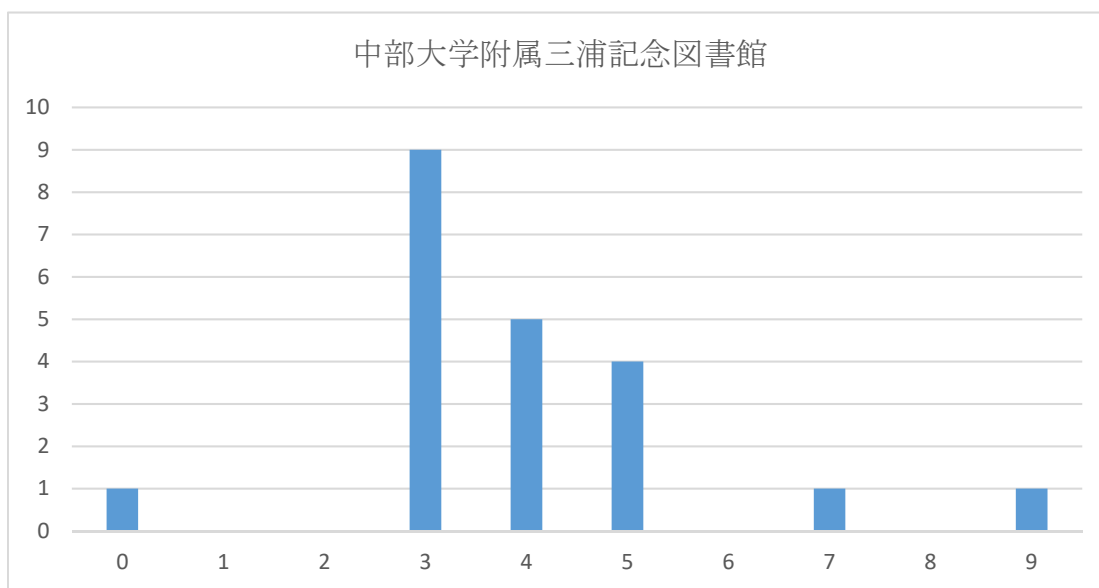


図 42 中部大学附属三浦記念図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 46 のようになった。出版年 2000 年～2009 年の図書を多く推薦していることが分かる。

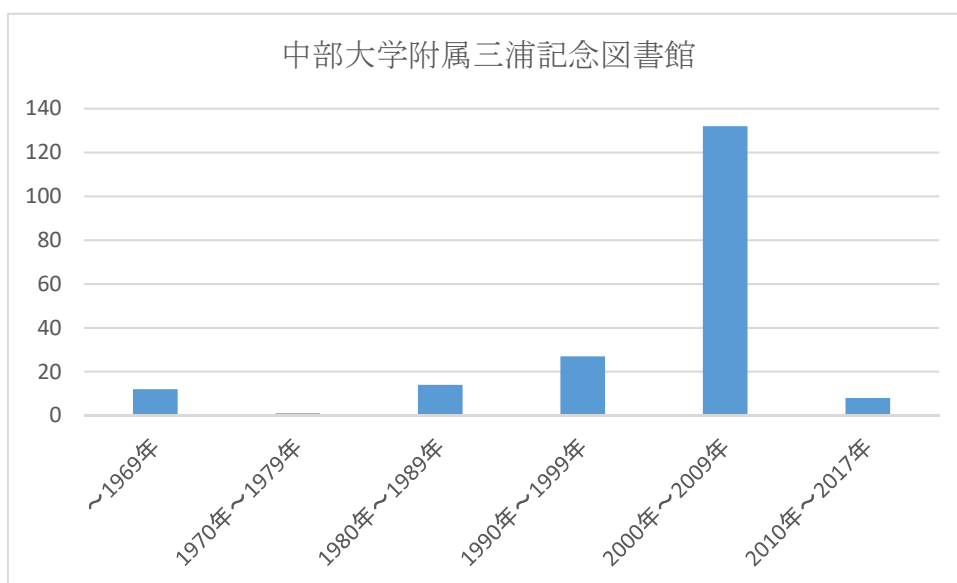


図 43 中部大学附属三浦記念図書館推薦図書出版年

中部大学附属三浦記念図書館のパスファインダー推薦図書の NDC 分類と出版年をまとめた結果は図 47 のようになった。「総記」「社会科学」「自然科学」「技術・工学」「芸術・美術」「文学」の各パスファインダーは出版年 2000 年～2009 年の推薦図書が大きな部分を占めていることが分かる。

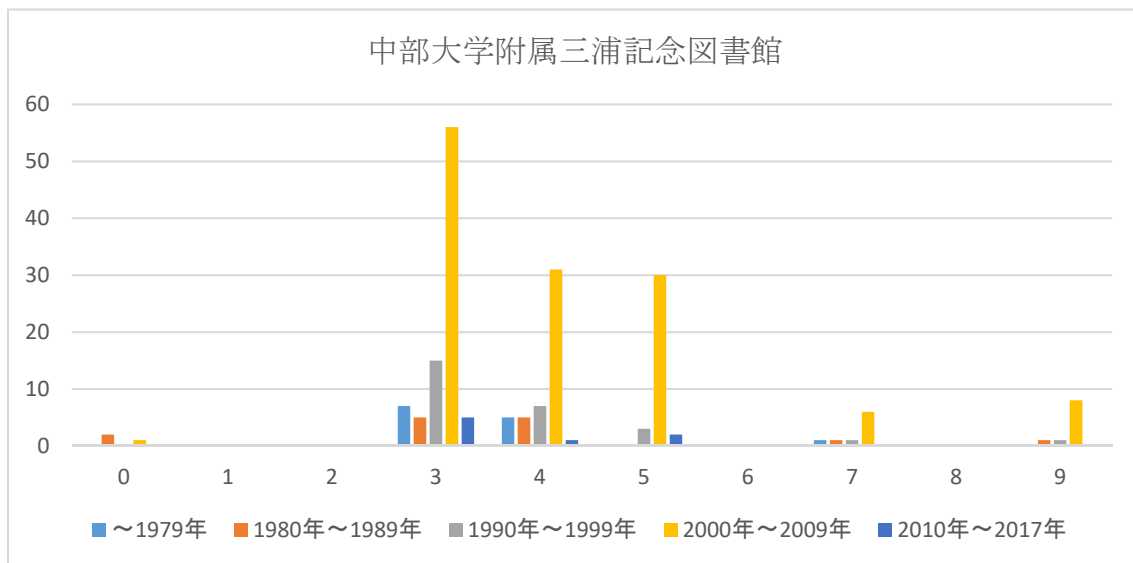


図 44 中部大学附属三浦記念図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

#### 4.3.16 南山大学図書館

南山大学図書館は計3個のパスファインダーを掲げている。パスファインダーをNDCによって分類すると図48のようになった。「社会科学」「技術・工学」「言語」のパスファインダーを作成している。最新更新日は2015年5月14日である（最終確認日2017年11月6日）。

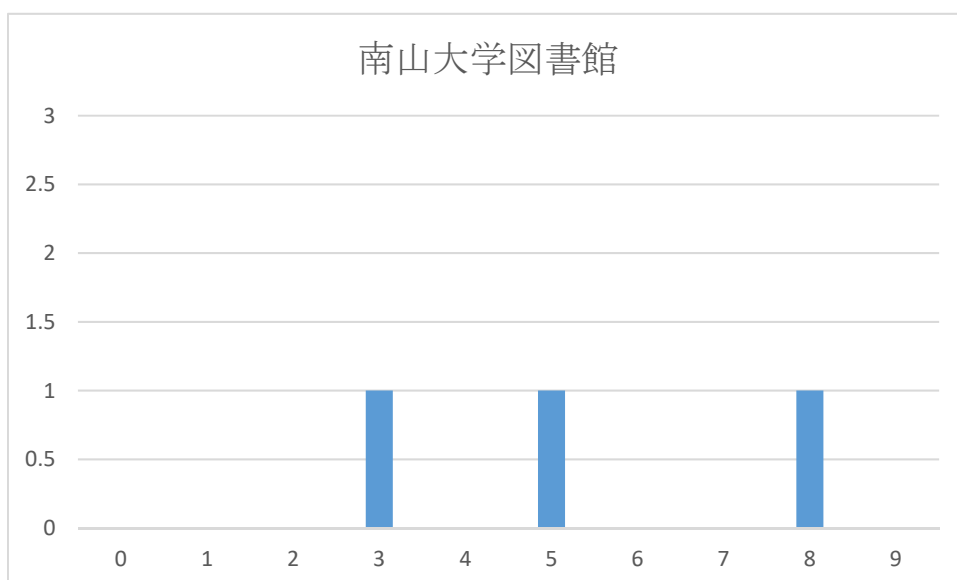


図 45 南山大学図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 49 のようになった。出版年

2000 年～2009 年の図書を多く推薦していることが分かる。

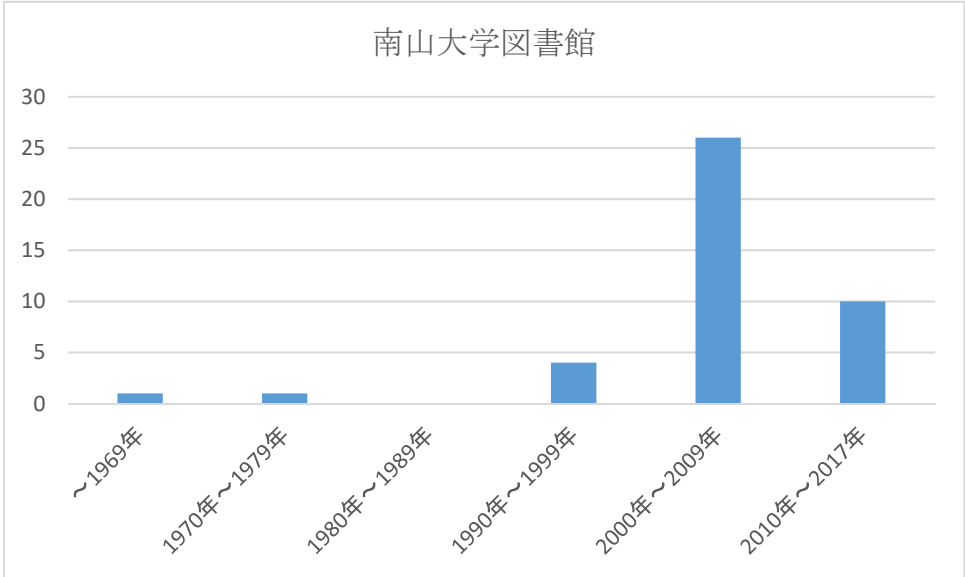


図 46 南山大学図書館推薦図書出版年

南山大学図書館のパスファインダー推薦図書の NDC 分類と出版年をまとめた結果は図 50 のようになった。「社会科学」「技術・工学」「言語」の 3 つの分類の推薦図書は出版年 2000 年～2009 年のものが大きな部分を占めていることが分かる。

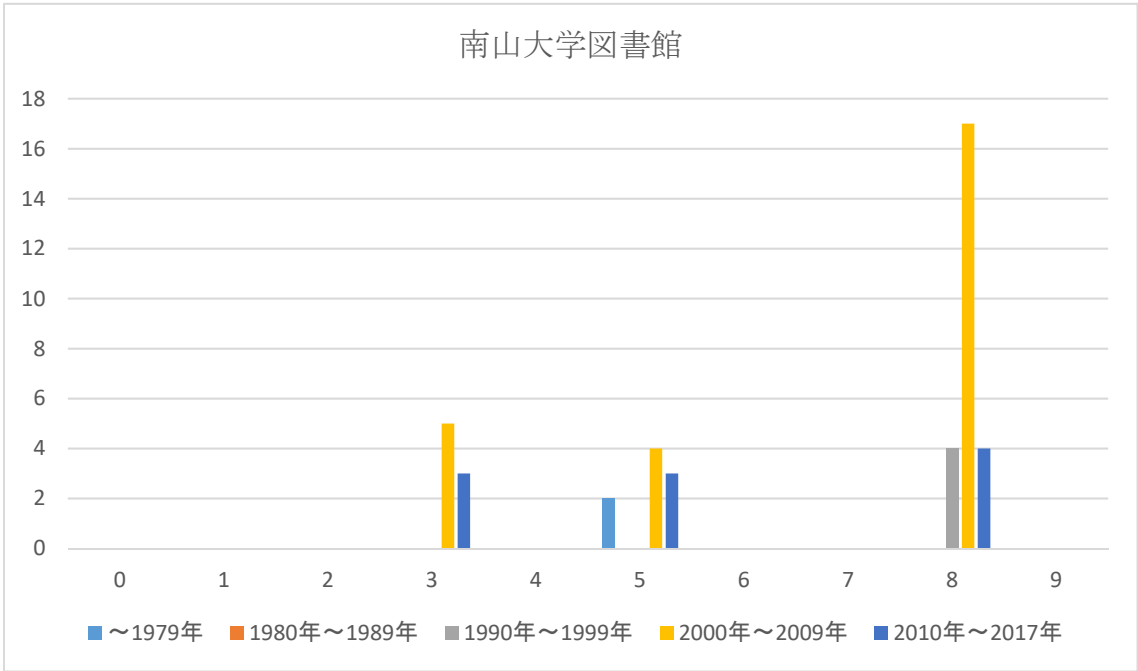


図 47 南山大学図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

#### 4.3.17 三重大学附属図書館

三重大学附属図書館は計 29 個のパスファインダーを提供している。「情報リテラシー教育支援」として、「分野別パスファインダー」と「授業資料ナビ」の 2 つに分けている。また、「授業資料ナビ」は「千葉大学授業資料ナビゲータ」と「名古屋大学情報への道しるべ」を参考し作成したものであると説明している。「分野別パスファインダー」の最新更新日は 2012 年 11 月 16 日、「授業資料ナビ」の最新更新日は 2014 年 5 月 13 日である（最終確認日 2017 年 11 月 7 日）。

パスファインダーをNDCによって分類すると図51のようになった。「総記」「歴史」「社会科学」「自然科学」「技術・工学」「産業」「文学」のパスファインダーを作成している。「社会科学」が多くを占めていることが分かる。

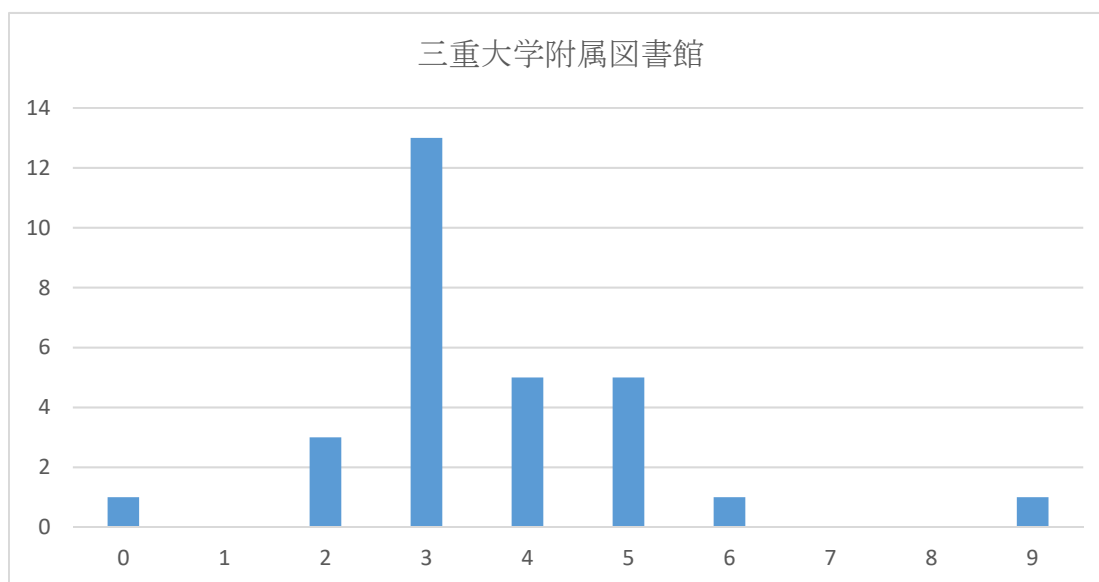


図 48 三重大学附属図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 52 のようになった。出版年 2000 年～2009 年の図書を最も多く推薦していることが分かる。

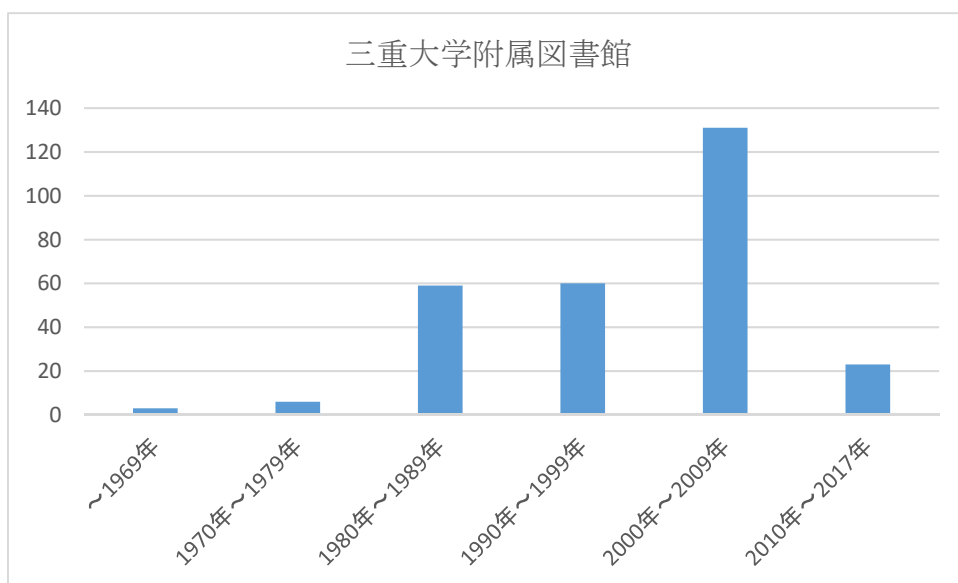


図 49 三重大学附属図書館推薦図書出版年

三重大学附属図書館のパスファインダー推薦図書のNDC分類と出版年をまとめた結果は図 53 のようになった。「総記」「歴史」「社会科学」「自然科学」「技術・工学」「産業」の推薦図書は出版年 2000 年～2009 年のものが多く、「文学」は出版年 1980 年～1989 年の図書を最も多く推薦していることが分かる。

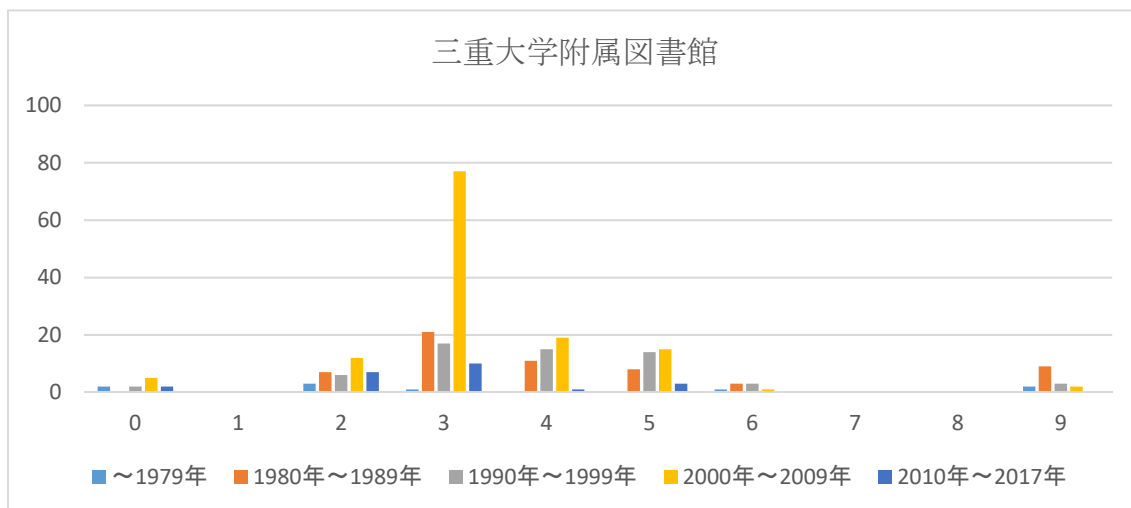


図 50 三重大学附属図書館パスファインダーの NDC と出版年の対照グラフ

#### 4.3.18 京都産業大学図書館

京都産業大学図書館は計 17 個のパスファインダーを提供している。「調べ方ガイド」として日本十進分類法の分野順に掲げている。「順次に作成と更新する」と説明しているが、

2017 年 12 月 27 日現在、図 54 のように「社会科学」「産業」「文学」に関するパスファインダーを作成している。パスファインダーの更新日を記載していないため、更新日は把握できなかった。

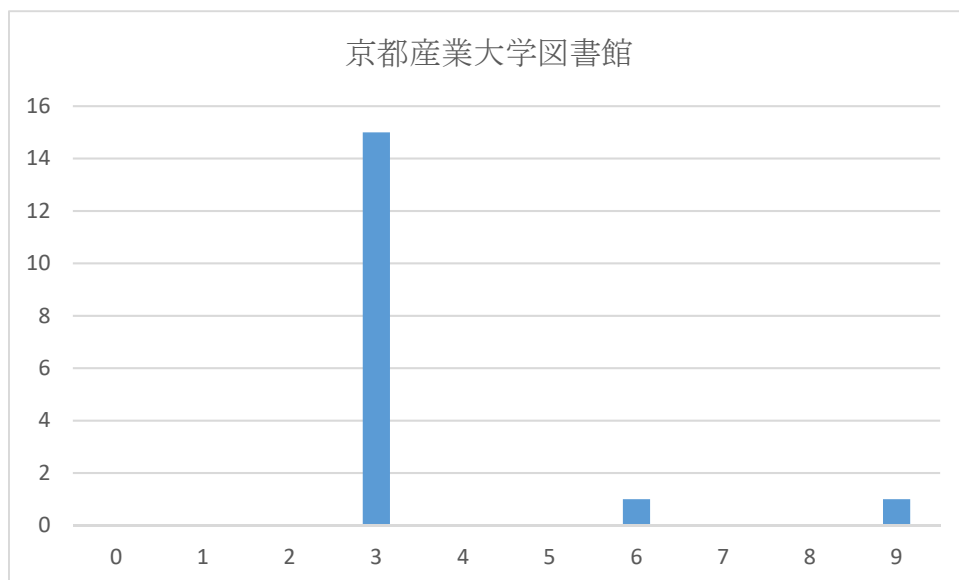


図 51 京都産業大学図書館パスファインダーの NDC 分類

パスファインダーの推薦図書の出版年をまとめた結果は図 55 のようになった。出版年 2010 年～2017 年の図書を最も多く推薦図書していることが分かる。

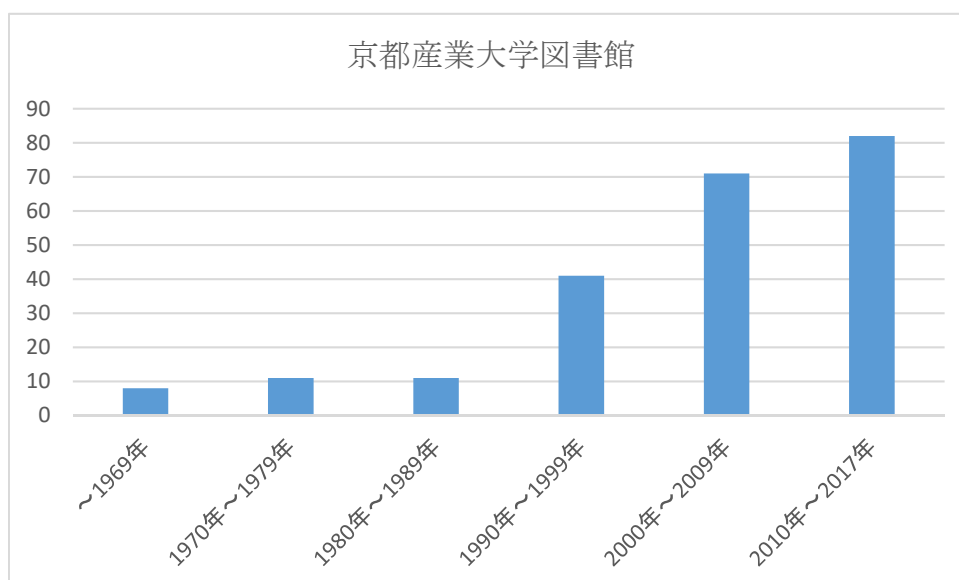


図 52 京都産業大学図書館推薦図書出版年

京都産業大学図書館のパスファインダー推薦図書のNDC分類と出版年をまとめた結果は図56のようになった。「社会科学」「産業」は出版年2010年～2017年の図書が多く、「文学」は出版年1990年～1999年の図書を多く推薦していることが分かる。

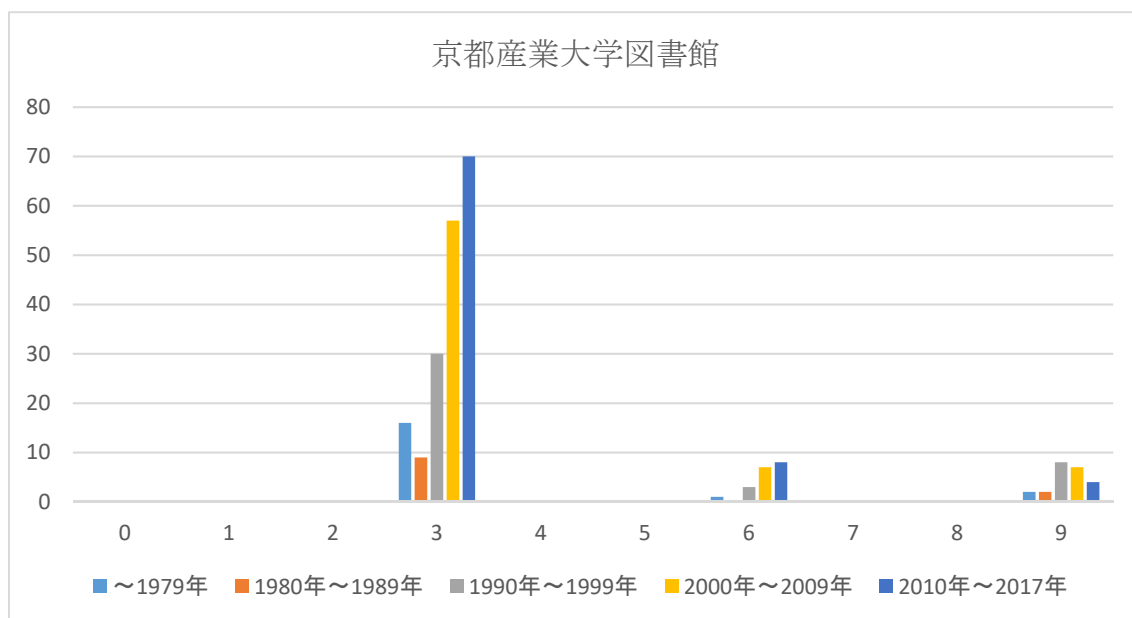


図 53 京都産業大学図書館パスファインダーのNDCと出版年の対照グラフ

## 5. 考察

### 5.1 パスファインダーの更新状況

本研究で、「名古屋大学附属図書館」「日本社会事業大学附属図書館」「京都産業大学図書館」に関するパスファインダーの最新更新日を把握できなかった。

2017 年に更新されている館は「大阪大学附属図書館」「神戸大学附属図書館」「首都大学東京図書館」「福岡大学図書館」「東洋大学附属図書館」「千葉大学附属図書館」「神奈川大学図書館」の 7 館であった。パスファインダーの更新は続けられており、作成事業が継続されていることが分かる。「法政大学図書館」と「学習院女子大学図書館」のパスファインダー更新は 2016 年で止まっているが、今後の更新が望まれる。

残り 7 館の最新の更新日は「南山大学図書館」は 2015 年、「東京理科大学図書館」「城西大学水田記念図書館」「三重大学付属図書館」は 2014 年、「愛知学院大学図書館情報センター」は 2012 年、「中部大学付属三浦記念」は 2011 年、以上の情報から図書館更新をやめている可能性が高い。

### 5.2 パスファインダーの作成数

本研究で約 500 個以上のパスファインダーが調査対象になった。大学図書館別のパスファインダー作成数を大きく「1～10」（7 館）、「10～30」（6 館）、「30～50」（3 館）、「100～」(2 館) の 4 つに分けられる。

作成数「1～10」に該当するのは 7 館であった。その中で、「日本社会事業大学附属図書館」の作成数は 1 個のみ、「東洋大学付属図書館」「南山大学図書館」は 3 個であり、パスファインダーの作成数は少ないと感じる。

### 5.3 パスファインダーの作成分野

パスファインダーの分野別に見ると、「総記」は 11 館、「哲学」は 6 館、「歴史」は 9 館、「社会科学」は全館、「自然科学」は 12 館、「技術・工学」は 11 館、「産業」は 4 館、「芸術・美術」と「言語」は 6 館、「文学」は 8 館であった。

「社会科学」に関するパスファインダーはほぼ全館が作成しているに対し、「総記」「自然科学」「技術・工学」は 6 割にとどまり、「歴史」は 5 割であった、「哲学」「芸術・美術」「言語」「文学」については 5 割を下回り、「産業」は 2 割のみであり、傾向に大きな差があることが分かった。

### 5.4 パスファインダー推薦図書出版年

大阪大学附属図書館では「社会科学」と「技術・工学」の分野で推薦している図書は出版年 2000 年～2009 年の図書が多かったが、進歩が激しい技術・工学分野に関しては 2010 年～



2017 年の図書を推薦する方が望ましいと考えられる。

名古屋大学附属図書館では「社会科学」の推薦図書は出版年 2000 年～2009 年、次に 1990 年～1999 のものが多く、過去についての資料は十分であるが、新しい時事問題を知りたい利用者への対応は難しいと考えられる。

福岡大学図書館の「哲学」「歴史」「社会科学」「技術・工学」「芸術・美術」「言語」「文学」のパスファインダーでは出版年 2000 年～2009 年の推薦図書が多いが、「社会科学」と「技術・工学」に関して、分野の進歩の速さを考えると 2010 年～2017 年の推薦図書を増やすべきだと考えられる。

東洋大学附属図書館の「総記」は出版年 2010 年～2017 年の図書のみを推薦していること、「社会科学」は出版年 2010 年～2017 年と 1990 年～1999 年の図書を推薦していることが分かるが、出版年が限られている点が問題である。

愛知学院大学図書館情報センターは「哲学」「社会科学」「自然科学」に関するパスファインダーを作成しているが、各パスファインダーの推薦図書は出版年 2000 年～2009 年のものが多くを占めていることから、利用者に最新の情報を提供することはできないと言えるであろう。

東京理科大学図書館では、「自然科学」「技術・工学」は出版年 2010 年～2017 年の図書のみ、「社会科学」は出版年 2010～2017 年の図書のみ推薦していることため、利用者に提供する情報が限られている。

城西大学水田記念図書館は「技術・工学」に関する推薦図書は出版年 2000 年～2009 年が多く、2010 年～2017 年のものを増やすべきだと考えられる

日本社会事業大学附属図書館では「社会科学」のパスファインダーを 1 個のみ作成している。パスファインダーの数は少ないと感じる。また、パスファインダーの推薦図書は出版年 2000 年～2009 年と 2010 年～2017 年の図書のみを推薦している。「社会科学」に関して、以前の知識が知りたいときの対応は難しいかもしれない。「文学」は出版年 1980 年～1989 年の図書が最も多く推薦しているが、近年の図書が少ないため、利用者に提供する情報が限られている。

## 5.5 授業支援パスファインダー

本研究で、「神戸大学附属図書館」「名古屋大学附属図書館」「首都大学東京図書館」「千葉大学附属図書館」「学習院女子大学図書館」「三重大学附属図書館」は授業支援としてパスファインダーを作成していることを把握できた。

## 6. 終わりに

本研究で対象になった 18 館大学図書館のパスファインダー調査では、更新日を把握できない館が 3 館あったが、ほかの 15 館に関しては、2017 年に更新されている館は 7 館、2016 年に更新していた館は 2 館があったにとどまり、残り 6 館は更新をやめている可能性がある。

授業支援としてパスファインダーを作成している館は 6 館あった。更新日を把握できない 1 館があったが、2017 年と 2016 年まで更新を続けているのは 4 館であった。授業支援としてパスファインダーを作成する場合は、更新し続ける可能性が高いかもしれない。

パスファインダーの作成分野を見ると、全 18 館が「社会科学」に関するパスファインダーを作成していた。そしてパスファインダーの数も「社会科学」に関するものが最も多かった。18 館のうち、「自然科学」に関するパスファインダーを作成している館は 12 館あったが、「産業」に関するパスファインダーを作成して館は最も少なく、4 館にとどまった。今後は、「社会科学」以外の分野も増やすことが重要であろう。

また、本研究で調査した際、パスファインダーで推薦している図書が、その大学図書館では所蔵していないというケースや転記ミスもあった。例えば、大阪大学附属図書館のパスファインダーでは「キタミ式イラスト IT 塾基本情報技術者」と「マンガで分かる統計学 回帰分析編」の 2 つの図書を推薦しているが、実際に大阪大学図書館の OPAC で検索結果が見つからなかった。パスファインダーを作成する上で、このような問題は避けるべきであろう。

## 謝辞

本研究に際して、様々なご指導を頂きました辻慶太先生に深謝いたします。修士課程の二年間を楽しく過ごすことができました。誠にありがとうございました。

最後に、本研究を進めるにあたり、貴重な意見や Excel の使い方を教えてくださった辻研の先輩・同期・後輩の皆様に感謝いたします。

## 参考文献

1. Rice, James. "Pathfinder". Teaching library use: a guide for library instruction. Westport, Coon., Greenwood Press, 1981, p.91-92
2. Stevens, Charles H., Marie P. Canfield, and Jeffrey J. Gardner. Library pathfinders: A new possibility for cooperative reference service. College & Research Libraries. 1973, vol.34, no.1. p.40-46
3. 市川美智子. 図書館パスファインダー作成報告とその可能性. 医学図書館. 2006, vol.53, no.1, p.55-59
4. 伊藤白, 小澤弘太. 国内における Web 上パスファインダーの現況調査. 情報の科学と技術. 2008, vol.58, no.7, p.361-366
5. 紀平宏子. 国際基督教大学図書館のサービス: 利用者教育を中心に. 情報管理. 2015, vol.58, no.9, p.657-665
6. 小池利栄子. パスファインダーの作成と活用への試み. 看護と情報: 日本看護図書館協会会誌. 2010, vol.17, p.62-66
7. 鹿島みづき, 山口純代. 図書館パスファインダーに見る次世代図書館の可能性. 情報の科学と技術. 2002, vol.52, no.10, p.526-537
8. 鹿島みづき, 山口純代, 小嶋智美. パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践—図書館員のための主題検索ツール作成ガイド. 東京, 紀伊國屋書店, 2005, 175p.
9. 鹿島みづき, 山口純代. 図書館パスファインダー: 次世代図書館に生かせる古くて新しい図書館の技術. 館灯. 2004. vol.42, p.35-46
10. 鹿島みづき. パスファインダー作成における主題分析の応用: 教育と連携するために. 館灯. 2012, vol.50, p.33-38
11. 杉山毅, 市川美智子. 特集, 広がりをもせるパスファインダー: 医療・健康に特化した地域連携パスファインダー「メディカルパス」について: 愛知医科大学と近隣公共図書館の事例. 図書館雑誌. 2012, vol.106, no.4, p.240-242
12. 鈴木宏子, 武内八重子, 中村澄子. 図書館による学習支援と教員との連携: 千葉大学におけるパスファインダー作成の実践から. 大学図書館研究. 2008, vol.83, p.19-24
13. 瀬戸口誠. 情報リテラシー教育とは何か: そのアプローチと実践について. 情報の科学と技術. 2009, vol.59, no.7, p.316-321
14. 多田直彦. 「良心教育」におけるパスファインダーの活用. 新島研究 = Neesima studies. 2014, vol.105, p.186-199
15. 図書館雑誌編集委員会. 特集, 広がりをもせるパスファインダー: 特集にあたって: パスファインダーに有機性を見る. 図書館雑誌. 2012, vol.106, no.4, p.236

16. 成田康子. ブック・ストリート 図書館 パスファインダーって何. 2007, vol.2118, p.32-33
17. 野原ゆかり, 井川友利子, 山田政寛. パスファインダー作成ツールを活用した授業運用シラバス開発と授業支援の試行. 本教育工学会研究報告集. 2014, vol.14, no.1, p.339-344
18. 眞喜志まり. シラバス型パスファインダー作成の試み. 薬学図書館. 2008, vol.53, no.4, p.329-335
19. 三根慎二, 寺井仁. パスファインダー協同作成支援システムへの取り組み. 図書館雑誌. 2008, vol.102, no.11, p.774-777
20. 村上詠子. パスファインダー作成の有効性: 情報検索・メディア活用能力の育成. 目白大学短期大学部研究紀要. 2008, vol.44, p.155-179
21. 山口純代. 愛知淑徳大学図書館におけるパスファインダー作成の実際. 館灯. 2004, vol.42, p.17-26
22. 山田稔, 鹿島みづき. 特集, 広がりをもせるパスファインダー: パスファインダー: 主題アクセス再評価への道しるべ. 図書館雑誌. 2012, vol.106, no.4, p.243-245
23. 米田奈穂, 竹内比呂也. 特集, 広がりをもせるパスファインダー: 戦略的ツールとしてのパスファインダー: 千葉大学附属図書館における「授業資料ナビゲータ」の取り組みと展開. 図書館雑誌. 2012, vol.106, no.4, p.237-239